

平成24年度 世界に誇れる「まち」の実現に向けた取組状況

【注1】この資料は、「世界に誇れる『まち』の実現に向けてー市政推進に当たっての基本コンセプト」
（平成23年12月公表）に基づき、平成24年度当初予算における重点事業を基本として、本市の
主要な事業の取組状況を整理したものです。

【注2】今後の事業展開の予定については、「財政運営方針（平成24年度～平成27年度）」の期間と合
わせ、平成27年度までの予定を記載しています。

【注3】新規事業には 新規 、再掲事業には【再掲】と補記しています。

【注4】当該年度の予算額は当初予算額、前年度の決算額は繰越を含む決算額です。

【注5】「特記事項」の欄には、新規の取組や事業の拡充・縮小、事業内容の変更など、前年度と比較して
当該年度の事業計画に変更があった場合における変更の内容及びそれに至った契機やいきさつ、
その他特に説明すべき事項を記載しています。

平成24年10月
広島市

目次

| | | |
|---|--------------------|-------------|
| 1 | 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現 | P 1 ~ P 50 |
| | 都市機能の充実強化 | P 1 ~ P 19 |
| | 産業の振興 | P 20 ~ P 31 |
| | 観光の振興 | P 32 ~ P 50 |
| 2 | ワーク・ライフ・バランスのまちの実現 | P 51 ~ P 67 |
| | 雇用の促進等 | P 51 |
| | 保健・医療の充実 | P 52 ~ P 54 |
| | 福祉の充実 | P 55 |
| | 未来を担う子どもの育成 | P 56 ~ P 58 |
| | スポーツ・文化芸術の振興 | P 59 ~ P 63 |
| | 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 | P 64 ~ P 67 |
| 3 | 平和への思いを共有するまちの実現 | P 68 ~ P 70 |
| | 「迎える平和」の推進 | P 68 ~ P 70 |

平成24年度 世界に誇れる「まち」の実現に向けた取組状況 対象事業一覧

| 柱 | 大項目 | 小項目 | 事業名 | 担当局等 | 頁 | |
|--------------------|-----------------------------|---|----------------------------|-------------------------|-------|----|
| 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現 | 都市機能の充実強化 | 「楕円形の都心づくり」の推進 | 広島駅南口周辺地区市街地再開発の推進 | | | |
| | | | Bブロック市街地再開発 | 都市整備局 | 1 | |
| | | | Cブロック市街地再開発 | 都市整備局 | 2 | |
| | | | 広島駅新幹線口地区整備の推進 | | | |
| | | | 二葉の里土地区画整理 | 都市整備局 | 3 | |
| | | | 広島駅自由通路等整備の推進 | 道路交通局 | 4 | |
| | | | 大規模未利用地についての活用方策の検討 | 旧広島市民球場跡地の活用 | 都市整備局 | 5 |
| | | | | 広島大学本部跡地の有効活用の促進 | 都市整備局 | 6 |
| | | | | 広島駅新幹線口地区整備の推進〔再掲〕 | | |
| | | | | 二葉の里土地区画整理 | 都市整備局 | 7 |
| | | 広島西飛行場跡地活用の検討 | | 都市整備局 | 8 | |
| | | ひろしま西風新都都市づくりの全体計画の見直し | | 都市整備局 | 9 | |
| | | 地域ごとの特性や将来性等を踏まえた地域づくり 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | | 公共交通体系づくりの基本計画の策定に向けた検討 | 道路交通局 | 10 |
| | | | | JR可部線の輸送改善事業の推進 | 道路交通局 | 11 |
| | | | | 白島新駅の整備 | 道路交通局 | 12 |
| | | | | 西広島駅周辺地区交通結節点整備 | 道路交通局 | 13 |
| | | | 広島駅南口広場の再整備等に係る検討 | 道路交通局 | 14 | |
| | | | 路面電車のLRT化の推進 | 道路交通局 | 15 | |
| | | | 地域における生活交通の確保 | | | |
| | | | 地域主体による生活交通確保策の研究 | 道路交通局 | 16 | |
| | 地域主体の乗合タクシー等運行補助 | | 道路交通局 | 17 | | |
| | 地域主体の乗合タクシー等導入支援 | | 道路交通局 | 18 | | |
| | 自転車都市づくり推進計画の策定に向けた検討 | 道路交通局 | 19 | | | |
| | 産業の振興 | 活力にあふれる地域産業の育成 | 中小企業金融対策 | 経済観光局 | 20 | |
| | | | ものづくり販路開拓支援事業 | | | |
| | | | 販路開拓コーディネータの配置 | 経済観光局 | 21 | |
| | | | ものづくり技能者養成事業補助 | 経済観光局 | 22 | |
| | | | 自動車関連産業の振興対策 | | | |
| | | | 電気自動車の導入による開発支援 | 経済観光局 | 23 | |
| | | | 創業支援事業 | 経済観光局 | 24 | |
| | | | 企業立地促進補助事業 | 経済観光局 | 25 | |
| | | | ひろしま西風新都都市づくりの全体計画の見直し〔再掲〕 | 都市整備局 | 26 | |
| | | | 近隣市町と連携した産業振興 | 企画総務局 | 27 | |
| | | 地域特性等を踏まえた商店街の振興 | 経済観光局 | 28 | | |
| | | 健康で豊かな市民生活を創造する農林水産業の振興 | 青年新規就農者確保事業 | 経済観光局 | 29 | |
| | | | 中山間地域リースハウス整備事業 | 経済観光局 | 30 | |
| | | | 有害鳥獣対策 | 経済観光局 | 31 | |
| 観光の振興 | | | こみのないまちづくり | 環境局 | 32 | |
| | | | 花のあるまちなみづくり事業 | 都市整備局 | 33 | |
| | | | 広島交響楽団等による花と音楽のイベント〔再掲〕 | 市民局 | 34 | |
| | 自転車都市づくり推進計画の策定に向けた検討〔再掲〕 | | 道路交通局 | 35 | | |
| | 街角観光案内所の設置 | 経済観光局 | 36 | | | |
| | 宿泊客に対する市内公共交通機関のフリーパスの提供の検討 | 経済観光局 | 37 | | | |

平成24年度 世界に誇れる「まち」の実現に向けた取組状況 対象事業一覧

| 柱 | 大項目 | 小項目 | 事業名 | 担当局等 | 頁 | | | |
|---|-----|------------------|----------------------------------|---------------------------|----------------------------------|--------------------|----------|-------------------|
| | | 美しい都市空間の形成 | 景観行政の推進 | 都市整備局 | 38 | | | |
| | | | 「水の都ひろしま」づくりの推進 | 経済観光局 | 39 | | | |
| | | | 路面電車の軌道敷緑化 | 道路交通局 | 40 | | | |
| | | | 都心エリアのおもてなし環境整備 | 都市整備局・道路交通局 | 41 | | | |
| | | | 観光資源の発掘・開発 | 経済観光局 | 42 | | | |
| | | | | 観光資源の発掘・開発 | 全国菓子大博覧会の開催支援 | 経済観光局 | 42 | |
| | | | | | 観光客のニーズに即したまち歩きコースの情報提供 | 経済観光局 | 43 | |
| | | | | | NHK大河ドラマ「平清盛」を活用した観光振興事業 | 経済観光局 | 44 | |
| | | | | | 修学旅行誘致活性化事業 | 経済観光局 | 45 | |
| | | | | | みなとオアシスにぎわいづくり | 都市整備局 | 46 | |
| | | | | | 安佐動物公園整備 | 都市整備局 | 47 | |
| | | | | 近隣市町と連携した観光振興 | 広島県観光キャンペーンへの参画 | 経済観光局 | 48 | |
| | | | | | 広島・宮島・岩国地域観光圏事業 | 経済観光局 | 49 | |
| | | | | | インバウンド推進事業 | 経済観光局 | 50 | |
| | | | | | ワーク・ライフ・バランスのまちの実現 | 雇用の促進等 | 雇用施策への取組 | ハローワークの権限移譲に向けた取組 |
| | | | 健康寿命の延伸に向けた取組 | 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成 | 健康福祉局 | 52 | | |
| | | | | 医療提供体制の充実・強化 | 市立病院の経営改善方策の検討 | 病院事業局 | 53 | |
| | | | 安佐市民病院の建替等の検討 | 病院事業局 | 54 | | | |
| | | | | 福祉の充実 | 地域福祉の推進 | 総合福祉センター整備検討 | 健康福祉局 | 55 |
| | | 未来を担う子どもの育成 | 安心して子どもを生み育てることのできる環境づくり | 民間保育園整備補助 | こども未来局 | 56 | | |
| | | | 家庭・地域社会・学校が役割と責任に応じて子どもを育てる環境づくり | 地域子育て支援拠点事業 | こども未来局 | 57 | | |
| | | | | まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト | 教育委員会 | 58 | | |
| | | スポーツ・文化芸術の振興 | 健康の保持増進とまちの活性化に向けたスポーツの振興 | 沼田高等学校寮建設 | 教育委員会 | 59 | | |
| | | | 豊かな人間性のかん養とまちの活性化に向けた文化芸術の振興 | アニメーションフェスティバルの開催等 | | | | |
| | | | | | 「第14回広島国際アニメーションフェスティバル」の開催補助 | 市民局 | 60 | |
| | | | | | 「第14回広島国際アニメーションフェスティバル」市民前夜祭の開催 | 市民局 | 61 | |
| | | | | | 広島メディア芸術振興プロジェクトの実施 | 市民局 | 62 | |
| | | | | 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 | 広島交響楽団等による花と音楽のイベント | 市民局 | 63 | |
| | | | | | 地域の実情に応じた市民主体のまちづくり | 区の魅力と活力の向上推進 | 市民局 | 64 |
| | | | | | 犯罪や事故の起こりにくいまちづくり | 「減らそう犯罪」推進事業 | 市民局 | 65 |
| | | | | | 災害に強く安心して生活できるまちづくり | 東日本大震災を踏まえた防災対策の推進 | 消防局 | 66 |
| | | | | | 校舎等耐震化対策 | 教育委員会 | 67 | |
| | | 平和への思いを共有するまちの実現 | 「迎える平和」の推進 | 広島を訪れ、平和への思いを共有してもらうための取組 | NPT再検討会議等国際会議の誘致 | 市民局 | 68 | |
| | | | 被爆の実相を正しく伝えていくための取組 | 被爆体験伝承者の養成 | 市民局 | 69 | | |
| | | | 平和への思いの醸成 | 折り鶴に託された思いを昇華させるための取組の推進 | 市民局 | 70 | | |

総事業数

66

(再掲4事業)

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|----------------|---|---|---|---|
| 都市機能の充実強化 | 「楕円形の都心づくり」の推進 | <p>広島駅南口周辺地区市街地再開発の推進</p> <p>【事業名】 Bブロック市街地再開発</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)事業の目的 広島駅南口Bブロック地区において、組合施行による市街地再開発事業を実施し、建物の不燃化と土地の高度利用により、都市機能を更新するとともに、商業・業務機能の集積及び都心居住の推進を図り、広島陸の玄関にふさわしい地区に再生しようとするものである。</p> <p>(2)事業の概要 ア 施行者 広島駅南口Bブロック市街地再開発組合 イ 区域面積 約1.4ha ウ 関係権利者 約130名 エ 施設建築物の概要 (主な用途)住宅、商業施設、業務施設、駐車場 (延床面積)約124,800㎡ オ 総事業費 約353億円</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利変換計画の認可 ・解体工事の着手 ・建築工事の着手 <p>予算額 14億9,900万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成25～27年度 建築工事 (平成27年度再開発ビル竣工予定)</p> | <p>都市整備局 都市機能調整部 広島駅周辺地区整備担当</p> <p>TEL:082-504-2791 E-mail:hiro-sta@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計に着手 ・権利変換計画の作成に着手 <p>決算額 2,134万9千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>平成24年7月 事業計画変更認可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の変更:約340億 約353億円 ・施設計画の変更: 免震構造の導入、住宅部分の増加(51階 52階)、立体駐車場台数の減少(94台)、東棟駐車場台数の増加(9階 10階、105台) | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|----------------|---|--|---|---|
| 都市機能の充実強化 | 「楕円形の都心づくり」の推進 | 広島駅南口周辺地区市街地再開発の推進 <p>【事業名】 Cブロック市街地再開発</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)事業の目的 広島駅南口Cブロック地区において、組合施行による市街地再開発事業を実施し、建物の不燃化と土地の高度利用により、都市機能を更新するとともに、商業機能の集積及び都心居住の推進を図り、広島陸の玄関にふさわしい地区に再生しようとするものである。</p> <p>(2)事業の概要 ア 施行者 広島駅南口Cブロック市街地再開発組合 イ 区域面積 約1.9ha ウ 関係権利者 約240名 エ 施設建築物の概要 (主な用途)住宅、商業施設、 駐車場 (延床面積)約99,900㎡ オ 総事業費 約280億円</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 再開発組合設立の認可 権利変換計画の作成、認可 実施設計 解体工事の着手 <p>予算額 37億330万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成25～27年度 建築工事 (平成27年度再開発ビル竣工予定)</p> | <p>都市整備局 都市機能調整部 広島駅周辺地区整備担当</p> <p>TEL:082-504-2791 E-mail:hiro-sta@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発事業を都市計画決定 事業計画(土地家屋の現況調査、基本設計等)を作成 再開発組合設立認可を申請 <p>決算額 2億5,869万7千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|----------------|--|---|---|--|
| 都市機能の充実強化 | 「楕円形の都心づくり」の推進 | <p>広島駅新幹線口地区整備の推進</p> <p>【事業名】 二葉の里土地区画整理</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)事業の目的 二葉の里地区において、土地区画整理事業による都市基盤整備を行うとともに、民間主体による計画的な開発の誘導を図り、歴史と風景を大切に、品格のある景観を醸し出すよう、本市の陸の玄関にふさわしいまちづくりを進める。</p> <p>(2)事業の概要 ア 施行者 独立行政法人都市再生機構 (UR都市機構) イ 区域面積 約13.8ha ウ 施行期間 平成22年度～平成30年度 (清算期間5年を含む) エ 総事業費 51億9,000万円</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備工事 ・広島県において3街区の一部 (0.6ha) を高精度放射線治療センター(仮称)等の建設予定地として取得予定 ・民間による開発の誘導 <p>予算額 7億35万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 平成25年度 基盤整備完了</p> | <p>都市整備局 都市機能調整部 広島駅周辺地区整備担当</p> <p>TEL:082-504-2791 E-mail: hiro-sta@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画道路1号線を供用開始 ・民間事業者が2街区の保留地 (0.83ha) を取得 <p>決算額 11億6,620万4千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>基盤整備完了後は、歴史と風景を大切に、品格のある景観を醸し出すよう、「二葉の里地区まちづくりガイドライン」を基に調整を行いながら、民間主体による開発の誘導を図る。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|---------------|--------------------|---|---|---|---|
| 都市機能の充 実強化 | 「楕円形の都心 づくり」の推進 | <p>【事業名】 広島駅自由通路等整備の推進</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)目的 広島駅自由通路及びペDESTリアン デッキの整備は、都心の東の核である広 島駅周辺地区の「活力とにぎわい」を一 層高めるため、同地区の歩行者の回遊 性向上を図るものである。 また、新幹線口広場の再整備により交 通機能の適正な配置を図り、新幹線口の 交通混雑を緩和する。</p> <p>(2)概要等 ・広島駅自由通路 幅員:15m 総延長:約180m ・ペDESTリアンデッキ 幅員:4~6m 総延長:約450m ・新幹線口広場 約13,300m² ・総事業費 約181億円 ・事業期間 平成21年度～平成30年度</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島駅自由通路 準備工事、建設工事 ・ペDESTリアンデッキ 実施設計 ・新幹線口広場 実施設計 <p>予算額 5億4,710万円</p> <hr/> <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島駅自由通路 実施設計、準備工事 <p>決算額 8,290万4千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島駅自由通路 平成25年度以降 建設工事 ・ペDESTリアンデッキ 平成25年度以降 建設工事 ・新幹線口広場 平成25年度以降 建設工事 | <p>道路交通局 道路部 街路課</p> <p>TEL:082-504- 2264 E-mail: gairoka@city.hi roshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|--|--|--|---|
| 都市機能の充実強化 | 大規模未利用地についての活用方策の検討 | <p>【事業名】 旧広島市民球場跡地の活用</p> <p>【事業の目的・概要等】 旧広島市民球場跡地について、従前の利用計画を見直し、これまで以上に都心のにぎわいの場となるよう、市民等から広く意見を聴き、平成24年度末までに活用方策を策定する。 活用方策の策定に向けて、「若者を中心としたにぎわいのための場」にしていくという方向性の下、長期的な視点(1)とまちづくりの視点(2)の二つの大きな視点から検討を行うことにしている。</p> <p>1 長期的な視点:「若者を中心」、すなわち、将来的に見て跡地が魅力ある空間であると評価してもらえるようにするため、そのあり方を考えていく。</p> <p>2 まちづくりの視点:「にぎわい」、すなわち、旧市民球場跡地を含む紙屋町・八丁堀地区について、都市全体のバランスを考慮しながら、文化・芸術、商業、スポーツ等のいずれの視点で活力を持たせるのかを考えていく。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧広島市民球場跡地の活用方策の策定 旧広島市民球場解体後の整地等 <p style="text-align: right;">予算額 2,751万6千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>今年度策定する活用方策を基に、具体化に向けた検討等を行う。</p> | <p>都市整備局 都市機能調整部 旧市民球場跡地担当</p> <p>TEL:082-504-2758 E-mail:toshik@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧広島市民球場跡地の活用方策の検討 旧広島市民球場解体工事 等 <p style="text-align: right;">決算額 1億6,129万8千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>活用方策については、旧広島市民球場跡地委員会からの最終報告を踏まえつつ、「若者を中心としたにぎわいのための場」となるようなものを策定する。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|--|--|--|--|
| 都市機能の充実強化 | 大規模未利用地についての活用方策の検討 | <p>【事業名】 広島大学本部跡地の有効活用の促進</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)目的 広島大学本部跡地は、都心に残された数少ない大規模未利用地であり、かつて広島教育の中心として栄えてきた経緯などを踏まえ、その有効活用を図る必要がある。 広島地域大学長有志懇談会から提案された「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」は、都心の活性化や都市としての魅力の向上に大きく貢献できるものであり、その実現に向けて取り組む。</p> <p>(2)跡地の概要 全体面積：約11.4ha</p> <p>(内訳) 広島大学東千田キャンパス 約1.8ha 東千田公園 約3.0ha 民間所有地（住宅及び商業施設）約2.2ha 未利用地（国立大学財務・経営センター所有地） 約4.4ha</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の整形化 <p>〔 ・土地鑑定・測量 ・公園区域の都市計画変更手続 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者を公募し、土地売却 <p>予算額 354万6千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>今年度取り組む土地の整形化を踏まえ、事業化を推進する。</p> | <p>都市整備局 都市機能調整部 広島大学本部跡地担当</p> <p>TEL:082-504-2698 E-mail:toshik@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の整形化の事業手法を検討 <p>決算額 127万9千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>民間事業者の資金とノウハウを活用するとともに、広島大学東千田キャンパスや東千田公園との相乗効果を発揮させることによって、教育・教養機能を有する「知の拠点」の再生に向けて取り組む。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|---|---|---|---|
| 都市機能の充実強化 | 大規模未利用地についての活用方策の検討 | <p>広島駅新幹線口地区整備の推進【再掲】</p> <p>【事業名】 二葉の里土地区画整理</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)事業の目的 二葉の里地区において、土地区画整理事業による都市基盤整備を行うとともに、民間主体による計画的な開発の誘導を図り、歴史と風景を大切にし、品格のある景観を醸し出すよう、本市の陸の玄関にふさわしいまちづくりを進める。</p> <p>(2)事業の概要 ア 施行者 独立行政法人都市再生機構（UR都市機構） イ 区域面積 約13.8ha ウ 施行期間 平成22年度～平成30年度（清算期間5年を含む） エ 総事業費 51億9,000万円</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備工事 ・広島県において3街区の一部（0.6ha）を高精度放射線治療センター（仮称）等の建設予定地として取得予定 ・民間による開発の誘導 <p>予算額 7億35万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 平成25年度 基盤整備完了</p> | <p>都市整備局 都市機能調整部 広島駅周辺地区整備担当</p> <p>TEL:082-504-2791 E-mail:hiro-sta@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画道路1号線を供用開始 ・民間事業者が2街区の保留地（0.83ha）を取得 <p>決算額 11億6,620万4千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>基盤整備完了後は、歴史と風景を大切にし、品格のある景観を醸し出すよう、「二葉の里地区まちづくりガイドライン」を基に調整を行いながら、民間主体による開発の誘導を図る。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|---|--|---|--|
| 都市機能の充実強化 | 大規模未利用地についての活用方策の検討 | <p>【事業名】 広島西飛行場跡地活用の検討 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)目的 広島西飛行場のヘリポート化に伴い発生する跡地は、本市のまちづくりに影響を与えるだけでなく、県内さらには、中四国地方全域にまで影響を与えるほどの広大な土地であり、その有効活用に向け、本市が中心となり取り組む。</p> <p>(2)跡地の概要 跡地面積 約40ha() 現在の広島西飛行場(約49.5ha)からヘリポート用地、広島南道路用地等を除いた最終的な跡地面積</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・検討協議会の設置・運営 ・跡地利用のビジョンの策定</p> <p style="text-align: right;">予算額 1,098万7千円</p> <hr/> <p>前年度の実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>今年度策定する跡地利用のビジョンを踏まえ、事業化に取り組む。</p> | <p>都市整備局 都市機能調整部 都市機能調整担当</p> <p>TEL:082-504-2763 E-mail:toshik@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>跡地利用のビジョンについては、今後、広島県との情報共有や意見交換を十分に行いながら検討を進め、広島県も参画する「検討協議会」を設置し、市民の意見も聴いた上で策定する。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 | |
|-----------|------------------------|---|--|---|---|--|
| 都市機能の充実強化 | 地域ごとの特性や将来性等を踏まえた地域づくり | <p>【事業名】 ひろしま西風新都都市づくりの全体計画の見直し 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)目的 都市機能の強化、産業の振興、快適な居住空間の形成などの視点に立って、民間の投資意欲を喚起するよう西風新都都市づくりの全体計画の見直しを行い、計画的かつ着実に都市づくりを進める。</p> <p>(2)全体計画見直しに当たっての基本的考え方 民間の開発や企業立地に対する意欲を喚起するため、次に取り組む。 ア 民先行・官追随というこれまでの進め方を改めることとし、具体的な施策の実施方法を定めることにより、都市づくりの進め方を示す。 イ 西風新都の価値をより高めるという考え方の下、 ・時代に対応した新たな機能 ・世界の潮流に沿った先進的な取組を計画に盛り込む。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・西風新都都市づくり全体計画に係る基礎調査 ・西風新都の都市づくり懇談会の開催 ・全体計画(素案)の作成</p> <p style="text-align: right;">予算額 2,300万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成25年度 ・全体計画の策定・公表 平成25年度以降 ・新たな全体計画に基づく都市づくりの施策展開</p> | <p>都市整備局 西風新都整備部</p> <p>TEL:082-504-2658 E-mail: seifu-seibi@city.hiroshima.lg.jp</p> | |
| | | | <p>前年度の取組実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>西風新都の都市づくりは、平成元年にスタートし、その後、平成20年2月に改定した「ひろしま西風新都都市づくり推進プラン」に基づき進めてきており、一定の産業集積と快適な居住環境の形成が図られてきた。 しかしながら、社会経済情勢の変化などにより、民間開発が順調に進むことを前提とした現行の全体計画は、低成長時代には合わなくなってきている。 このため、全体計画を見直し、時代の変化や世界の潮流に即応した都市づくりの進め方を積極的に取り入れ、そのポテンシャルを最大限に活かすことにより、活力にあふれた拠点としていく。</p> | | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|--|---|---|--|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>【事業名】 公共交通体系づくりの基本計画の策定に向けた検討 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 世界に誇れる「まち」の実現に向けた、活力とにぎわいを生み出す基盤づくりとして、公共交通を中心とした都市内交通の円滑化を図ることとしている。 このため、JRや路面電車、バス、アストラムラインなど公共交通の結節点の整備をはじめ、利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成を目的として、公共交通体系づくりの基本計画の策定に向けた検討を行う。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アストラムラインの西広島駅までの延伸ルートや構造面の見直し検討 ・西風新都の人口フレームや開発動向等を踏まえた公共交通機関の利用者予測 ・費用対効果分析 など <p style="text-align: right;">予算額 740万円</p> <hr/> <p>前年度の実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アストラムラインの西広島駅までの延伸ルート等について具体的な見直し結果のまとめ ・「公共交通体系づくりの基本計画」の策定 <p>平成26年度以降 基本計画に基づく取組の具体化</p> | <p>道路交通局 都市交通部 新交通担当</p> <p>TEL:082-504-2387 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>平成11年に策定した「新たな公共交通体系づくりの基本計画」の施策の柱であるアストラムライン延伸(西風新都線、東西線、南北線)は、計画策定後の経済環境の悪化などにより、事業化に至っておらず、アストラムライン延伸の全体計画について見直しを行う必要がある。 この見直しに当たっては、広島圏域全体の活力の向上につなげていくという視点が重要であることから、公共交通機関の体系整備に向けて、路面電車やバスなど既存の公共交通機関との連携強化なども視野に置いて、総合的な公共交通体系のあり方を検討していく必要がある。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|---|--|--|---|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>【事業名】 JR可部線の輸送改善事業の推進</p> <p>【事業の目的・概要等】 JR可部線は、本市の北部方面の公共交通の軸として、地域住民の移動手段の確保のみならず、安全で安心な交通サービスの提供や沿線住民の交流への寄与など、多様な役割を担っている。 このため、可部線の活性化を図ることを目的として、 ・可部駅から長井・荒下地区を含む河戸エリアまでの電化延伸 ・横川駅構内における可部線(上・下線)と山陽本線(上り線)との交差解消のための配線変更 など、輸送改善に取り組む。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>(1)可部線の電化延伸 ・踏切の取扱いに係る地元調整 ・環境影響評価手続(準備書等) ・詳細設計</p> <p>(2)横川駅の配線変更 ・詳細設計・工事</p> <p style="text-align: center;">予算額 6,724万8千円</p> <hr/> <p>前年度の取組実績</p> <p>(1)可部線の電化延伸 ・環境影響評価手続(予測評価) ・踏切の取扱いの検討等</p> <p>(2)横川駅の配線変更 ・施工手順の検討等</p> <p style="text-align: center;">決算額 1,703万6千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>(1)可部線の電化延伸 平成25年度以降 工事</p> <p>(2)横川駅の配線変更 平成25年度～平成26年度 工事</p> | <p>道路交通局 都市交通部 交通対策担当</p> <p>TEL:082-504-2604 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>可部線の電化延伸については、踏切の設置が国の基準により、安全性の観点から、原則認められないこととなっている中で、沿線住民の利便性を確保する観点から、できる限り復活するよう鉄道事業者と協議を重ねてきた。</p> <p>その結果、自動車交通量が多いなど一定の箇所について、踏切設置の見通しが得られたが、鉄道事業者との協議に時間を要したことから、平成23年度に事業着手することができなかった。</p> <p>引き続き、地元と話し合いを進めるなど、多くの地域住民の理解を得て、平成24年度のできるだけ早い時期に事業着手できるよう取り組む。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|---|--|--|---|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>【事業名】 白島新駅の整備</p> <p>【事業の目的・概要等】 JR沿線から市中心部へのアクセスを向上させるため、JR山陽本線とアストラムラインとの交差点にそれぞれの新駅を整備し、相互に連絡通路で結ぶことにより、利用者の利便性向上を図る。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軌道法及び都市計画法の認可を取得し、アストラムライン新駅や連絡通路の工事に着手 ・JR新駅については、鉄道事業者が鉄道事業法の認可を取得し、工事に着手 <p style="text-align: center;">予算額 8億2,840万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成25年度～平成26年度 工事 (平成27年春の新駅開業を目標)</p> | <p>道路交通局 都市交通部 新交通担当</p> <p>TEL: 082-504-2386 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画変更 ・アストラムライン新駅、連絡通路等の設計 <p style="text-align: center;">決算額 2億149万6千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>アストラムライン新駅については、当初計画どおりであるが、事業費縮減の観点から、連絡通路部分の屋根を簡素な構造形態へ見直すこととし、ドーム状の屋根を取りやめて、歩行者の通行に必要な動線部分のみに屋根を設置する。</p> <p>「花と緑の広島づくり」の観点から、利用者の動線軸となる中央部の連絡通路において、快適な歩行空間づくりを目指し、地元関係者と協働して、花と緑にあふれる空間づくりに取り組む。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|--|--|--|--|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>【事業名】 西広島駅周辺地区交通結節点整備新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 JRと路面電車、バスの乗換利便性の向上など、交通結節点機能の強化を図る観点から、西方面の交通拠点であるJR西広島駅周辺地区において、以下の整備に取り組む。 ・北口駅前広場及びアクセス道路の整備 ・南北自由通路の整備、駅舎のバリアフリー化 ・南口駅前広場の再整備</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業範囲全体の測量 ・北口駅前広場及びアクセス道路の整備 予備設計 ・南北自由通路の整備 都市計画決定及び事業認可取得、地質調査 <p style="text-align: right;">予算額 2,662万円</p> <hr/> <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北自由通路の整備 計画案等に係る地元説明、都市計画手続 等 <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北口駅前広場及びアクセス道路の整備 平成26年度以降 詳細設計等 ・南北自由通路の整備、駅舎のバリアフリー化 平成25年度 基本設計等 平成26年度以降 詳細設計等 ・南口駅前広場の再整備 平成26年度以降 詳細設計等 | <p>道路交通局 都市交通部 新交通担当</p> <p>TEL:082-504-2387 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>JR西広島駅周辺地区は、JRと路面電車、バス等との乗換の利便性、駅北口へのアクセス、南北地区の分断、駅舎のバリアフリーなどの課題が顕在化しており、早期の対策が求められている。 このため、駅北口の道路整備や南北自由通路及び駅前広場の整備に優先的に取り組むことにしており、南北自由通路の都市計画決定など事業化のめどがついたことから、これらの整備に着手するものである。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 | |
|-----------|---------------------|--|--|--|---|--|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>【事業名】 広島駅南口広場の再整備等に係る検討</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)目的 広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の「核」とする「楕円形の都心づくり」を推進するとともに、公共交通を中心とした都市内交通の円滑化に向け、利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成を図ることを目的として、南口広場の再整備について検討を行うものである。</p> <p>(2)概要 広島駅南口広場 面積約15,000㎡</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・広島駅南口広場再整備等に係る基本方針の決定 ・広島駅南口広場再整備に係る基本設計の実施</p> <p style="text-align: right;">予算額 923万5千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>広島駅南口広場再整備等に係る基本方針を踏まえ、引き続き、路面電車のルートのあり方について検討し、基本設計を行うとともに、事業手法の検討や都市計画決定などの法的手続を行う。</p> | <p>道路交通局 都市交通部 公共交通計画担当</p> <p>TEL:082-504-2384 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> | |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <p>・広島駅南口広場再整備に係る検討(交差点検討、レイアウト検討など)</p> <p style="text-align: right;">決算額 389万円</p> | | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>路面電車のルートのあり方については、駅前大橋ルート()とする場合の広場への進入方法として平面・高架・地下の3案を検討しているところであるが、交通事業者と関係者の理解を深めるために、現行ルートを含め、各案について更なる検証を行う必要がある。</p> <p style="text-align: center;">路面電車の駅前大橋ルート(稲荷町から駅前大橋経由)</p> | | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|--|--|---|---|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>【事業名】 路面電車のLRT化の推進</p> <p>【事業の目的・概要等】 本市の路面電車は延長約19kmで、一日当たり約10万人が利用するなど市民の日常生活に欠かせない交通手段であり、市民生活や都市のイメージづくりに大きく貢献している。 こうしたことから、都市内交通の円滑化や都市の魅力向上などの観点から、路面電車のLRT化を推進するものである。</p> <p>LRT化:Light Rail Transitの略で、定時性・速達性、快適性などに優れ、人にも環境にもやさしい路面電車にすること。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低床路面電車車両購入費補助 ・第3回LRT都市サミットへの参加 <p style="text-align: right;">予算額 6,761万5千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>本市では、路面電車のLRT化を目的として、国、県警、交通事業者、本市等で構成する「広島都市圏LRTプロジェクト推進協議会」を設置し、本協議会において、具体的なLRT化施策を盛り込んだ「広島都市圏LRT整備計画」を取りまとめており、この計画に基づき、以下の路面電車のLRT化の推進を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低床路面電車の導入を促進するため、交通事業者へ必要な支援を行う。 ・電停のバリアフリー化を推進するため、交通事業者と協議しながら取組方針や支援のあり方について検討を進める。 ・電車優先信号の設置箇所拡大等に向けて、関係機関に働きかけを行うなど交通事業者と協力する。 <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | <p>道路交通局 都市交通部 交通対策担当</p> <p>TEL:082-504-2604 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回LRT都市サミットへの参加 <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|---|--|--|--|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>地域における生活交通の確保</p> <p>【事業名】 地域主体による生活交通確保策の研究 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 地域における生活交通を確保するため、地域が主体となって生活交通を維持確保する取組の充実を図る必要がある。 このため、学識経験者や関係行政機関などで構成する研究会を設置し、地域の住民や企業が主体となった利用促進策や、運行を支える仕組みづくりなどについて検討する。 また、地域の特性に応じた乗合タクシー以外の交通サービスの導入可能性に加え、宅配や移動販売など商業者自らが実施主体となる新たなサービスの有効性や実現可能性についても検討する。</p> | <p>当該年度の事業計画 ・研究会の開催、地域生活交通に関する検討結果の取りまとめ</p> <p style="text-align: right;">予算額 39万3千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 ・研究会での成果を踏まえて作成するマニュアルに基づき、地域主体の取組に対する助言や協力などを実施する。 ・移動販売や買物代行など買物難民対策等の新たなサービスの具体的な支援方策等について検討を深める。</p> | <p>道路交通局 都市交通部 公共交通計画 担当</p> <p>TEL:082-504-2383 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 急速に進む高齢化などに対応するため、日常生活を支える公共交通の確保が今後ますます重要になってくると考えられることから、今年度、新たに研究会を設置し、地域が主体となって高齢者等の生活交通を継続的に維持できる新たな仕組みづくりなどについて研究する。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|--|--|---|--|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>地域における生活交通の確保</p> <p>【事業名】 地域主体の乗合タクシー等運行補助 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 公共交通機関の利用が不便な地域において、地域が主体となって本格運行を行っている既存の乗合タクシー事業については、いずれの地区も採算が厳しい状況であるため、収支不足額の1/2の補助を行うことにより、地域における生活交通の維持確保を図る。</p> | <p>当該年度の事業計画 ・既存の乗合タクシー事業に対し、収支不足額の1/2を補助</p> <p style="text-align: right;">予算額 148万3千円</p> <p>前年度の実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 地域主体による生活交通確保策の研究会での成果を踏まえ、地域が主体となって生活交通を維持確保する取組に対して財政的な支援を実施する。</p> | <p>道路交通局 都市交通部 公共交通計画 担当</p> <p>TEL:082-504-2383 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項 地域が主体となって本格運行を行っている既存の乗合タクシー事業については、いずれの地区も採算が厳しい状況であるため、今年度から新たに収支不足額の1/2を補助することにより、地域における生活交通の維持確保を図る。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|---|---|---|--|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>地域における生活交通の確保</p> <p>【事業名】 地域主体の乗合タクシー等導入支援</p> <p>【事業の目的・概要等】 公共交通機関の利用が不便な地域において、地域が主体となって乗合タクシー等の生活交通を導入しようとする取組に対し、その初期段階から積極的な支援を行い、地域における生活交通の確保を図る。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野・中野東地区乗合タクシーの実験運行の収支不足額の負担、本格運行に向けた支援等 ・地域からの相談対応、市政出前講座の実施等 <p style="text-align: right;">予算額 124万7千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>地域主体による生活交通確保策の研究会での成果を踏まえ、地域が主体となって乗合タクシー等を導入しようとする取組に対し、助言や協力、実験運行経費の負担などの支援を実施する。</p> | <p>道路交通局 都市交通部 公共交通計画 担当</p> <p>TEL:082-504-2383 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野・中野東地区乗合タクシーの導入支援、実験運行の収支不足額の負担等 ・地域からの相談対応、市政出前講座の実施等 <p style="text-align: right;">決算額 167万6千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-----------|---------------------|--|---|--|--|
| 都市機能の充実強化 | 公共交通を中心とした都市内交通の円滑化 | <p>【事業名】 自転車都市づくり推進計画の策定に向けた検討 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 自転車は、短距離移動に手軽で便利だけでなく、環境にやさしい交通手段として多くの市民に利用されており、都市内交通の一翼を担う乗り物としてその役割がますます重要になっている。 このため、自転車が歩行者の安全確保を図りつつ、通勤、通学、買物、観光など様々な場面でより一層活用されるよう「自転車都市づくり推進計画」を策定し、自転車施策を総合的に推進する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車都市づくり推進検討会の設置、運営 ・自転車都市づくり推進計画の策定 <p style="text-align: right;">予算額 171万9千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 平成25年度以降 推進計画に基づく施策の展開</p> | <p>道路交通局 自転車都市づくり推進課</p> <p>TEL:082-504-2349 E-mail: jitensha@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>これまでは「走る(走行空間の整備)」、「停める(駐輪場の整備)」、「マナー」の各施策を個別に進めてきたが、通勤、通学、買物、観光など様々な場面で自転車が活用されるよう、今後の自転車施策の方向性を明確にした上で総合的に推進していく必要があるため、今年度、新たに「自転車都市づくり推進計画」の策定に取り組む。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|----------------|--|--|---|--|
| 産業の振興 | 活力にあふれる地域産業の育成 | <p>【事業名】 中小企業金融対策</p> <p>【事業の目的・概要等】 経営基盤や信用力が脆弱なことにより景気変動などの影響を受けやすい中小企業者や新成長産業への進出などを行う意欲的な中小企業者に対して、経営の安定化や活性化を図るため、民間金融機関の協力を得て融資を行うことにより、低利資金の円滑な提供を行う。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>取扱金融機関に対して融資原資の一部を預託し、中小企業者などに対して低利資金の調達を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資枠：1,025億7,290万円 ・預託額：263億5,100万円 <p style="text-align: right;">予算額 263億5,100万円</p> <hr/> <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出残高(24年3月末現在) 件数 19,058件 金額 795億1,061万5千円 ・新規貸出(23年4月～24年3月) 件数 7,523件 金額 348億2,187万9千円 <p style="text-align: right;">決算額 216億9,700万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金繰り等に苦慮している中小企業者が資金調達できるよう、経済情勢などの実態に応じた融資制度の見直しを行う。 ・新成長産業への進出などを行う意欲的な中小企業者が資金調達できるよう、中小企業者の実態に応じた融資制度の見直しを行う。 | <p>経済観光局 産業振興部 ものづくり支援課</p> <p>TEL:082-504-2237 E-mail:monozukuri@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>リーマンショック以降、急速に悪化した経済情勢は、一部持ち直しの動きが見られたものの、東日本大震災の影響や歴史的な円高による輸出産業への影響など不透明な要因もあり、依然として厳しい状態にあり、市内中小企業者は引き続き資金繰りに苦慮する状況が続いている。</p> <p>また、平成24年度から「新成長ビジネス育成資金(特別融資)」を創設するとともに、景気対策特別融資などの融資限度額の引き上げ、環境保全資金などの貸出利率の引き下げ等を行った。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|----------------|---|---|--|---|
| 産業の振興 | 活力にあふれる地域産業の育成 | <p>ものづくり販路開拓支援事業</p> <p>【事業名】 販路開拓コーディネータの配置 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 (公財)広島市産業振興センターに 販路開拓コーディネータ1人を配置し、 意欲的にものづくりを行う中小企業の 販路開拓活動を支援する。</p> <p>(主な業務内容) ・販路開拓やマーケティングに関する アドバイス ・新製品・新技術について、関連する 企業とのマッチング</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>新製品の開発に意欲的に取り組むものづくり中小企業を掘り起こし、販路開拓コーディネータを派遣して、事業化戦略の策定から事業化までの支援を行う。</p> <p style="text-align: right;">予算額 399万9千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>成功モデルを増やしながら、地域の中小企業における新製品の開発・販売による事業拡大を促進する仕組みづくりの検討を深める。</p> | <p>経済観光局 産業振興部 ものづくり支援課</p> <p>TEL:082-504-2238 E-mail: monozukuri@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>ものづくりを行う中小企業は、自社のアイデアと技術力を生かして新製品や新技術の研究開発に取り組んでいるが、販路開拓力が弱いため、売上や利益の増加に結びついていないケースが見られる。</p> <p>このため、売上や利益の増加につながるよう、販路開拓コーディネータを配置し、市内のものづくりを行う中小企業による新たな販路の開拓の取組を支援することとした。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|----------------|--|--|--|---|
| 産業の振興 | 活力にあふれる地域産業の育成 | <p>【事業名】 ものづくり技能者養成事業補助</p> <p>【事業の目的・概要等】 ものづくりを行う中小企業の生産現場における技能の強化を支援する仕組みを確立するため、機械加工等の実技指導を行う技能指導者を派遣する事業に対し、補助を行う。</p> <p>・実施主体 NPO法人 ATACひろしま</p> <p>・補助内容 技能指導者の派遣に係る経費の1/3 事業実施に係る事務局経費の全額</p> <p>NPO法人 ATACひろしま 地元企業の生産現場の経験豊富なOB 技術専門家によるNPO法人。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>NPO法人 ATACひろしまが、ものづくりを行う中小企業に技能指導者を派遣し、実技指導を行う事業に対し、補助を行う。</p> <p style="text-align: right;">予算額 487万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成26年度までの3年間は補助を継続することにより、技能の強化を支援する仕組みの確立を目指す。</p> | <p>経済観光局 産業振興部 ものづくり支援課</p> <p>TEL:082-504-2238 E-mail: monozukuri@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>ものづくり生産現場における技能伝承、人材育成が課題となる中、平成21年度から平成23年度にふるさと雇用再生特別交付金(国の交付金)事業を活用して、企業OB等による技能支援をNPO法人ATACひろしまに委託し実施した。</p> <p>平成24年度からは、同法人が蓄積した支援ノウハウ、人材ネットワーク等を活用し、法人自ら事業を実施することになり、市が3年間の補助を行うこととした。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|----------------|---|--|--|---|
| 産業の振興 | 活力にあふれる地域産業の育成 | <p>自動車関連産業の振興対策</p> <p>【事業名】 電気自動車の導入による開発支援新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 マツダ(株)及びその部品供給元となる中小企業の技術開発を支援するため、平成24年10月にマツダ(株)が地元自治体や企業向けにリースを開始するデミオEVを導入する。 なお、導入するデミオEVの走行データ等をマツダ(株)に情報提供し、量産化に向けてマツダ(株)及び部品供給元となる中小企業の技術開発を支援する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>平成24年10月から随時、デミオEV10台(本庁2台、各区1台)を導入する。</p> <p style="text-align: right;">予算額 582万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成30年の米国での環境規制(ZEV規制)に対応できるように、リースは6年間とし、走行データ等を提供する。</p> | <p>経済観光局 産業振興部 ものづくり支援課</p> <p>TEL:082-504-2238 E-mail: monozukuri@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>平成30年の米国での環境規制(ZEV規制)に対応し、自動車の輸出を継続できるよう、マツダ(株)や部品メーカーの電気自動車の量産化に向けた技術開発を支援する必要がある。</p> <p>ZEV規制とは、自動車メーカーが販売する車両の台数について、ある一定の比率をZEV(zero emission vehicle = 電気自動車等の無公害車)としなければならないとする米国の規制。 平成30年から規制が強化され、これまで規制対象外であったマツダ車も規制の対象となる見込みである。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|--|----------------|---|--|--|---|
| 産業の振興 | 活力にあふれる地域産業の育成 | <p>【事業名】 創業支援事業</p> <p>【事業の目的・概要等】 市内で創業を考えている20歳以上の者を対象に、事業計画の策定段階から実際に創業し事業が軌道に乗る段階まで、経営、資金の両面から総合的な支援を行う。</p> <p>(主な支援の内容) ・専門家による事業計画の策定指導 1件につき3回以内 ・経営アドバイザーの派遣 1件につき2年間で12回以内 ・融資 広島市創業チャレンジ資金 (限度額 1,000万円 利率年1%)</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>募集:年2回 (4月～5月、7月～8月)</p> <p>事業計画策定支援 16件 経営アドバイザー派遣 16件</p> <p>予算額 458万6千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>・広島地域が「創業気運にあふれるまち」となり、次々に創業者が生まれるような環境を整備していくための仕組みづくりを検討し、実施を目指す。</p> <p>・創業者が廃業することなく事業拡大し、雇用の受け皿となるよう、創業して間もない中小企業の育成に必要な施策を検討し、実施を目指す。</p> | <p>経済観光局 産業振興部 ものづくり支援課</p> <p>TEL:082-504-2237 E-mail: monozukuri@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| <p>(主な支援の内容) ・専門家による事業計画の策定指導 1件につき3回以内 ・経営アドバイザーの派遣 1件につき2年間で12回以内 ・融資 広島市創業チャレンジ資金 (限度額 1,000万円 利率年1%)</p> | | | <p>前年度の取組実績</p> <p>女性・シニア創業パッケージ型支援事業及び障害者創業支援事業の合計</p> <p>申請件数 13件 認定件数 6件 創業件数 10件 (平成22年度認定分を含む)</p> <p>決算額 1,285万6千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>平成23年度までは、女性、シニア(50歳以上の男性)及び障害者を対象に創業支援を行っていたが、平成24年度からは性別を問わず20歳以上の者を対象とし、さらに、事業計画の策定についても、専門家による指導を行うこととした。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|--|---------------------|---|--|--|--|
| 産業の振興 | 西風新都を中心とした企業誘致の取組強化 | <p>【事業名】 企業立地促進補助事業</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)事業の目的 企業立地促進補助金を交付することにより、新たな事業所の建設の促進及び市域外への事業所の流出を防止するとともに、本市における産業の集積及び雇用機会の拡大を図る。</p> <p>(2)事業の概要等 ア 土地及び建物を取得する場合、建物・機械設備等に対する投下資本額の一部を補助する。 〔補助率〕 8～30% 〔限度額〕 5億円または10億円 〔主な要件〕 延床面積1,000㎡以上</p> <p>イ 土地又は建物を賃借する場合、賃借料の一部を補助する。 〔補助率〕 賃借料(1年間)の1/2または1/3 〔限度額〕 2,000万円 〔主な要件〕 延床面積1,000㎡以上 なお、コールセンターは一律2,000万円を補助</p> | <p>当該年度の事業計画 ・補助金の交付 21社</p> <p>予算額 6億8,887万4千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 ・今後成長が見込まれる医療・福祉関連分野の企業の誘致に広島県と連携し、重点的に取り組む。 ・企業側のニーズや社会経済情勢の変化に応じて、必要な見直しを行う。</p> | <p>経済観光局 産業振興部 産業立地推進課</p> <p>TEL:082-504-2241 E-mail: sangyo@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| <p>前年度の実績 ・補助金の交付 27社</p> <p>決算額 6億330万6千円</p> | | | <p>特記事項 大変厳しい経済情勢の中で、本市の企業誘致をさらに強化するため、とりわけ本市において先導的なまちづくりを進めている西風新都への企業の立地誘導を一層推進するため、平成24年度から、より効果的で使いやすい制度に改正した。 【主な改正内容】 立地企業の初期投資に対する負担を軽減 ・雇用奨励金など3種類の補助メニューを建物・設備投資額に対する補助に一本化 ・交付時期を前倒し(操業開始1年後から5年分割で交付 操業開始直後から交付可) など 西風新都及び市有地への立地企業に対する優遇措置を強化 ・補助率、限度額を引き上げ(最大20% 30%、5億円 10億円) ・ホルダー企業(土地を取得し、建物を建設後、事業を行う企業に賃貸する企業)への補助創設 ・補助金の一括又は分割交付の選択制導入 など</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|---------------------|---|--|--|---|
| 産業の振興 | 西風新都を中心とした企業誘致の取組強化 | <p>【事業名】 ひろしま西風新都都市づくりの全体計画の見直し 新規【再掲】</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)目的 都市機能の強化、産業の振興、快適な居住空間の形成などの視点に立って、民間の投資意欲を喚起するよう西風新都都市づくりの全体計画の見直しを行い、計画的かつ着実に都市づくりを進める。</p> <p>(2)全体計画見直しに当たっての基本的考え方 民間の開発や企業立地に対する意欲を喚起するため、次に取り組む。 ア 民先行・官追随というこれまでの進め方を改めることとし、具体的な施策の実施方法を定めることにより、都市づくりの進め方を示す。 イ 西風新都の価値をより高めるという考え方の下、 ・時代に対応した新たな機能 ・世界の潮流に沿った先進的な取組を計画に盛り込む。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西風新都都市づくり全体計画に係る基礎調査 ・西風新都の都市づくり懇談会の開催 ・全体計画(素案)の作成 <p style="text-align: right;">予算額 2,300万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成25年度 ・全体計画の策定・公表</p> <p>平成25年度以降 ・新たな全体計画に基づく都市づくりの施策展開</p> | <p>都市整備局 西風新都整備部</p> <p>TEL:082-504-2658 E-mail: seifu-seibi@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>西風新都の都市づくりは、平成元年にスタートし、その後、平成20年2月に改定した「ひろしま西風新都都市づくり推進プラン」に基づき進めてきており、一定の産業集積と快適な居住環境の形成が図られてきた。 しかしながら、社会経済情勢の変化などにより、民間開発が順調に進むことを前提とした現行の全体計画は、低成長時代には合わなくなってきている。 このため、全体計画を見直し、時代の変化や世界の潮流に即応した都市づくりの進め方を積極的に取り入れ、そのポテンシャルを最大限に活かすことにより、活力にあふれた拠点としていく。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|---------------|---|--|--|---|
| 産業の振興 | 近隣市町と連携した産業振興 | <p>【事業名】 まち起こし協議会における取組の推進新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 広島広域都市圏協議会の内部組織として、テーマごとにまち起こし協議会を設置し、行政区域を越えた連携の下に、地域資源を積極的に活用し、まちの活性化と産業・経済の活力増進、雇用の拡大につながる取組を推進する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>“神楽”まち起こし協議会 ・平成24年9月 オープン型の神楽公演を開催 ・平成25年度以降の施策展開について検討</p> <p>“食と酒”まち起こし協議会 ・平成25年度以降の施策展開について検討</p> <p style="text-align: right;">予算額 324万6千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>・“神楽”まち起こし協議会、“食と酒”まち起こし協議会については、伝統文化や郷土自慢の美味といったそれぞれの魅力を生かして、関係する市町とともに、地域の活性化や産業・経済の振興につながる多様な取組を検討・実施する。 ・このほか、各市町と協議しながら、必要に応じ、新たなテーマのまち起こし協議会を設置するなど、広島広域都市圏の更なる発展に向けた取組を推進する。</p> | <p>企画総務局 企画調整部 分権・行政改革推進課</p> <p>TEL:082-504-2017 E-mail: gyoukaku@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <p>平成24年2月 “神楽”まち起こし協議会の設置 “食と酒”まち起こし協議会の設置</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>住民の日常生活や経済活動が行政区域を越えて大きく広がっている中、地域に共通する課題を解決していくため、広島広域都市圏での取組をこれまで以上に積極的かつ具体的に展開し、圏域全体の一体的発展を図る。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------------|---|---|--|---|
| 産業の振興 | 地域特性等を踏まえた商店街の振興 | <p>【事業名】 商店街振興事業補助</p> <p>【事業の目的・概要等】 商店街は、ヒト・モノ・カネが循環する拠点であり、地域コミュニティの場として重要な役割を担っており、地域特性や求められる役割を踏まえつつ、その振興を図るものである。</p> <p>(1) 商店街活性化事業費補助 商店街の活性化を図るため3年以上継続的に取り組む事業に要する経費の一部を補助する。</p> <p>(2) 中小商業活力向上事業費補助 空き店舗の活性化や集客力向上のための施設整備事業に要する経費の一部を補助する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>(1) 商店街活性化事業費補助 8商店街に対し補助金交付</p> <p>(2) 中小商業活力向上事業費補助 平成25年度以降に商店街等の団体が実施する事業の把握</p> <p style="text-align: right;">予算額 500万円</p> <hr/> <p>前年度の実績</p> <p>商売知恵出し事業補助 補助団体数 7団体 補助金額 179万2千円</p> <p style="text-align: right;">決算額 180万1千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>(1) 商店街活性化事業費補助 区役所と商店街が連携を一層強化し、活力あるまちづくりが進むよう、検討を深める。</p> <p>(2) 中小商業活力向上事業費補助 商店街等の団体が行う施設整備事業を支援し、人が集まりやすい環境を整備することで、地域コミュニティ機能の強化を目指す。</p> | <p>経済観光局 産業振興部 商業振興課</p> <p>TEL: 082-504-2236 E-mail: syogyo@city.hiroshima.lg.jp</p> <p>((1)の事業実施担当課) 各区地域起こし推進課</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>本市では、大型量販店・ディスカウントストアなどの進出やインターネットショッピングの普及などにより、商店街が大きな打撃を受けている。こうした状況の中、より効果的に商店街の振興を図るため、商売知恵出し事業補助を見直し、平成24年度から、商店街活性化事業費補助として募集、交付等に関する事務を商店街に身近な各区役所で行うとともに、助成額を拡大した。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|-------------------------|---|---|---|--|
| 産業の振興 | 健康で豊かな市民生活を創造する農林水産業の振興 | <p>【事業名】 青年新規就農者確保事業 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1) 事業の目的 農業経営に意欲のある青年新規就農者を確保し、農業経営の早期安定化を支援することで、本市農業の将来を担う農業経営者として育成する。</p> <p>(2) 事業の概要 平成20年度～平成23年度までに新規就農した青年新規就農者(就農時45歳未満の新規就農者)及び平成24年度以降に新規就農する青年新規就農者を対象に、就農直後5年以内の期間に毎年150万円の青年就農給付金(全額国費)を交付する。</p> <p>(3) 主な事業要件 ア 独立・自営就農者(雇用者、親元就農者は対象外) イ 前年の総所得が250万円を超えていない者 ウ 人・農地プラン()に今後の地域の中心となる経営体として位置付けられている者 人・農地プラン:地域の中心となる農業経営者への農地の集積、中心となる農業経営者とそれ以外の兼業農家等を含めた地域農業のあり方などを定めるもの</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>ひろしま活力農業経営者育成事業で育成した青年新規就農者等13人に対する給付金を交付</p> <p style="text-align: right;">予算額 1,950万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>・ひろしま活力農業経営者育成事業で育成し、中山間地域に就農する青年新規就農者などを毎年度3人程度、計12人程度確保し、農業経営が安定化するまでの期間(最長5年間)に青年就農給付金を給付する。</p> <p>これにより、中山間地域の農業生産の拡大や新たな雇用の場を創出するとともに、中山間地域への定住にもつなげる。</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | <p>経済観光局 農林水産部 農政課</p> <p>TEL:082-504-2247 E-mail: nousei@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績 なし</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>本市では農業者の減少と高齢化が進行していることから、若い担い手を育成・確保することが重要な課題となっている。 こうした中、国は青年新規就農者に対して、就農直後から5年以内の期間に毎年150万円の給付金を給付する「青年就農給付金事業」を創設した。 本事業を活用し、ひろしま活力農業経営者育成事業で育成した青年新規就農者等の農業経営の早期安定化を図り、本市農業の将来を担う農業経営者として育成・確保していく。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|-------------------------|--|---|--|--|
| 産業の振興 | 健康で豊かな市民生活を創造する農林水産業の振興 | <p>【事業名】 中山間地域リースハウス整備事業 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1) 事業の目的 生産条件が不利な中山間地域において、ビニールハウスを導入し生産性の高い周年栽培を行うことにより、市民に新鮮で安心な農産物を供給するとともに、中山間地域の活性化につなげる。</p> <p>(2) 事業の概要 産地直売農家等が中山間地域にビニールハウスを整備するにあたり、リース方式により施設導入に係る初期投資を軽減する。 <負担区分> 市3/20(上限10万円)、JA3/20、農家14/20(JAリース料)</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>ビニールハウス約200㎡を10箇所整備し、その整備主体に補助金を交付</p> <p style="text-align: right;">予算額 100万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>・定年就農者など産地直売農家等を対象に毎年度ビニールハウスを10箇所、計40箇所程度整備するよう取り組む。 これにより、品質の良い農産物の生産量を増大し、経営の安定化を図るとともに、その刺激を受け生産意欲の高まった周りの農業者へのビニールハウス整備を進めることで、活気ある地域農業の展開を図る。</p> | <p>経済観光局 農林水産部 農政課</p> <p>TEL:082-504-2247 E-mail: nousei@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>本市では、これまで定年退職を機に本格的に農業を行う定年就農者などを育成し、約70名が中山間地域に就農し、露地野菜栽培を中心とした農業を行っている。 これらの就農者は、冬場の産品を増やすとともに、積雪など天候に左右されず栽培できるビニールハウスを導入することを希望しているものの、投資に見合う収入が期待できず導入に踏み切れない状況にある。 このため、リース方式により、ビニールハウス導入に係る初期投資を軽減するための補助制度を創設し、生産条件を改善できる施設栽培へ誘導していく。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | 担当局・課名等 | |
|-------|-------------------------|--|--|---|---|
| 産業の振興 | 健康で豊かな市民生活を創造する農林水産業の振興 | <p>【事業名】 有害鳥獣対策</p> <p>【事業の目的・概要等】 有害鳥獣対策として、農業者の電気柵等による防除、箱わな等による駆除、駆除班による駆除、さらに有害鳥獣が出没しにくい環境整備を実施することにより、農産物被害の軽減を図る。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣駆除事業(防除用施設設置) ・鳥獣被害防除施設設置事業(侵入防止柵) ・野猿対策事業 ・有害鳥獣駆除事業(捕獲業務委託等) <p>予算額 5,170万8千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落ぐるみの防除体制を強化するため、人材育成講座として、集落の代表者を対象とした「集落リーダー養成講座」 職員を対象とした「鳥獣対策アドバイザー養成講座」 <p>を継続して実施し、防除対策に取り組む人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣対策アドバイザーが、集落リーダーとともに、集落内での勉強会や集落の点検、防除技術の指導を行うことにより、集落全員の鳥獣対策への意識の醸成を図り、集落ぐるみの有害鳥獣対策に取り組む。 | <p>経済観光局 農林水産部 農政課</p> <p>TEL:082-504-2247 E-mail: nousei@city.hiroshima.lg.jp</p> <p>経済観光局 農林水産部 農林整備課</p> <p>TEL:082-504-2249 E-mail: nourin@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | <p>防 除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者による防除 ・有害鳥獣駆除事業(電気柵等防除用施設設置) ・集落ぐるみの防除 ・鳥獣被害防除施設設置事業補助(侵入防止柵) ・野猿対策事業(追い上げ等) | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣駆除事業(防除用施設設置) ・鳥獣被害防除施設設置事業(侵入防止柵) ・野猿対策事業 ・有害鳥獣駆除事業(捕獲業務委託等) <p>決算額 4,011万5千円</p> | | |
| | | <p>駆 除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駆除班による駆除 ・有害鳥獣駆除事業(捕獲業務委託等) ・農業者による駆除 ・有害鳥獣駆除事業(箱わな等) <p>環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッファゾーン整備(里山林整備) | <p>特記事項</p> <p>野生鳥獣による農産物の被害は、市域のほぼ全域にわたり、年間を通じて発生しており、被害が拡大し、農家の生産意欲を阻害している。</p> <p>このことから、本市では駆除班による駆除等の対策を行っているが、依然として農産物被害は軽減できず、鳥獣被害防止への要望は年々増加している。</p> <p>また、高齢化や過疎化が進む中山間地域では、農業者による防除に限界があり、駆除に重点をおいた対策が必要となっており、次のとおり事業の拡充を図ることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(防除用施設設置) 平成23年度 箱わな 8基 平成24年度 28基 ・(侵入防止柵) 平成23年度 12.8km 平成24年度 20.4km ・(捕獲業務委託) 平成23年度 委託料 1,503万7千円 平成24年度 1,796万7千円 | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|--------------------|--|---|---|--|
| 観光の振興 | まち全体としての「おもてなし」の推進 | <p>【事業名】 ごみのないまちづくり 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1) 目的 来広者が「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じるような、ごみのない、きれいなまちづくり。</p> <p>(2) 概要 ア 市の中心部はもとより市内全域の不法投棄防止のために、より実効性のある方策を検討・実施する。 イ 来広者が訪れる頻度が高いエリアを「ごみゼロ推進モデル地区」に設定し、来広者がもてなされていることが実感できる、ごみのないきれいなまちづくりに向けたより効果の高い施策デザインや機能に配慮したごみ容器の配置 受動喫煙対策という観点も含めた喫煙場所のあり方について検討・実施し、効果の高い施策については、取組エリアを順次拡大する。 ウ たばこやごみを捨てる人のマナーの向上を図り、地域住民が一体となつてごみを出さないという意識を持っていることが、来広者にも伝わるようなまちづくりについて検討・実施する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散乱ごみ等現地調査の結果や市民等の意見を反映し、年度末までにアクションプランを策定(新規) ・不法投棄ごみ緊急収集(新規) ・ばい捨て防止指導員及び「クリーンアップチームひろしま」による清掃・啓発活動(拡充) ・街路ごみ収集業務(拡充) など <p>予算額 1億4,107万3千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成25年度以降、アクションプランに基づき、ごみのないまちづくりに関する施策を、順次全市に展開する。</p> | <p>環境局 業務部 業務第一課</p> <p>TEL:082-504-2098 E-mail: gyomu1@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばい捨て防止指導員及び「クリーンアップチームひろしま」による清掃・啓発活動 ・街路ごみ収集業務 ・クリーンボランティア支援事業 ・まちの美化に関する里親制度 ・散乱ごみ追放キャンペーン など <p>決算額 9,595万7千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>平成24年度は、ばい捨て防止指導員(4人から8人に増員)による清掃・啓発活動、「クリーンアップチームひろしま」(下半期に4チームから6チームに増員)による清掃・啓発活動及び街路ごみ収集業務を拡充するとともに、新たに不法投棄ごみ緊急収集などを実施する。</p> <p>なお、ばい捨て防止指導業務、クリーンボランティア支援事業、不法投棄ごみの緊急回収業務などは、区役所機能の強化の観点から平成24年度後半に区役所へ移管(平成24年度は、中区、東区、南区を予定。)する。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|--------------------|---|--|---|---|
| 観光の振興 | まち全体としての「おもてなし」の推進 | <p>【事業名】 花のあるまちなみづくり事業 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 一年を通して市民や来広者に四季折々の花を楽しんでもらうため、主要な公共施設へのプランター設置や地域における花壇づくりの促進など、市民や企業等と協働して全市的に花と緑のまちづくりに取り組む。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑の広島づくり推進本部の設置、運営 ・駅前吉島線(駅前大橋～稻荷町交差点)へのプランター設置 ・市民や企業・関係団体の参加によるネットワークの構築 ・春と秋のグリーンフェアにおける市民参加型の花に関するイベントの充実 <p>予算額 292万7千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑の広島づくりに対する市民意識の醸成を図るため、下記の事業を展開する。 ・花と緑の広島づくり推進本部の運営 ・「おもてなしの観光」の重点地区における主要な公共施設へのプランター設置及び市民や企業等による維持管理の促進 | <p>都市整備局 緑化推進部 緑政課</p> <p>TEL:082-504-2396 E-mail: park@city.hiros hima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績 なし</p> <p>決算額 0千円</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市民や企業・関係団体の参加によるネットワークの構築及びネットワークを通じた情報提供や支援の実施 ・春と秋のグリーンフェアにおける市民参加型の花に関するイベントの充実及び地域での花壇づくりの事例紹介や地域団体間の交流会等の実施 | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>広島を花と緑あふれる美しいまちにしていきたいため、今年度から、庁内に「花と緑の広島づくり推進本部」を設置し、全市的に花と緑の広島づくりに取り組んでいくことにしている。 本事業は、その取組の一つとして新たに実施するものである。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|--------------------|--|---|--|---|
| 観光の振興 | まち全体としての「おもてなし」の推進 | <p>【事業名】 広島交響楽団等による花と音楽のイベント 新規 【再掲】</p> <p>【事業の目的・概要等】 市民や広島を訪れる人たちの誰もが音楽文化と四季折々の花々に触れることができるよう、広島交響楽団による四季を感じられるコンサートを年3回シリーズとして実施する。</p> <p>シリーズ名：「音楽の花束～広響名曲コンサート」</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>音楽の花束～広響名曲コンサート 開催日： 平成24年 5月 2日(水) 春 平成24年10月14日(日) 秋 平成25年 2月 24日(日) 冬 場所：広島国際会議場 フェニックスホール</p> <p style="text-align: right;">予算額 872万9千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 平成25年以降も年3回のコンサートを実施し、「花と緑の広島づくり」の取組を一層推進する。</p> | <p>市民局 文化スポーツ部 文化振興課</p> <p>TEL:082-504-2500 E-mail: bunka@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>市民が優れたクラシック音楽を気軽に鑑賞できる機会を設け、音楽文化の振興を図るとともに、会場の生花装飾等の充実や、他の部局の事業等との連携により、「花と緑の広島づくり」の取組を推進するため、新たに実施するものである。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|--------------------|---|---|--|--|
| 観光の振興 | まち全体としての「おもてなし」の推進 | <p>【事業名】 自転車都市づくり推進計画の策定に向けた検討 新規 【再掲】</p> <p>【事業の目的・概要等】 自転車は、短距離移動に手軽で便利だけでなく、環境にやさしい交通手段として多くの市民に利用されており、都市内交通の一翼を担う乗り物としてその役割がますます重要になっている。 このため、自転車が歩行者の安全確保を図りつつ、通勤、通学、買物、観光など様々な場面でより一層活用されるよう「自転車都市づくり推進計画」を策定し、自転車施策を総合的に推進する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車都市づくり推進検討会の設置、運営 ・自転車都市づくり推進計画の策定 <p style="text-align: right;">予算額 171万9千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 平成25年度以降 推進計画に基づく施策の展開</p> | <p>道路交通局 自転車都市づくり推進課</p> <p>TEL:082-504-2349 E-mail: jitensha@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>これまでは「走る(走行空間の整備)」、「停める(駐輪場の整備)」、「マナー」の各施策を個別に進めてきたが、通勤、通学、買物、観光など様々な場面で自転車が活用されるよう、今後の自転車施策の方向性を明確にした上で総合的に推進していく必要があるため、今年度、新たに「自転車都市づくり推進計画」の策定に取り組む。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|--------------------|---|---|--|---|
| 観光の振興 | まち全体としての「おもてなし」の推進 | <p>【事業名】 街角観光案内所の設置 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 観光客が必要とする様々な情報を街中で手に入れやすい環境づくりを進め、広島滞在時の利便性の向上を図るとともに、「まち」全体でおもてなしの観光を進めるため、郵便局を始めとする民間事業者の協力を得て、観光案内などを行う街角観光案内所を設置する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・開設の申出があった民間事業所を街角観光案内所として認定し、目印となるステッカーや観光パンフレットなどを提供する。 ・認定事業所では観光パンフレットの配布や観光案内などを行う。</p> <p style="text-align: right;">予算額 38万9千円</p> <hr/> <p>前年度の実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>民間事業者からの申出状況に応じ、重点的に増やすべき地域などを考慮しながら、順次、街角観光案内所を増やしていく。</p> | <p>経済観光局 観光政策部 観光企画担当</p> <p>TEL: 082-504-2243 E-mail: kankokika@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>広島ならではの「おもてなし」として、訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じてもらえるよう、まち全体としての「観光起こし」を推進するための新規事業である。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|--------------------|--|--|---|--|
| 観光の振興 | まち全体としての「おもてなし」の推進 | <p>【事業名】 宿泊客に対する市内公共交通機関のフリーパスの提供の検討 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 おもてなしの観光を進めるため、市内宿泊施設利用者へ市内の観光施設等の特典利用が可能な市内交通フリーパスを提供し、宿泊者に対するサービス向上を図る。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>「第26回全国菓子大博覧会・広島」の開催に向けて、市内の観光施設等を特典利用できる交通フリーパス(当面は路面電車の1日乗車券)を活用した「広島市おもてなしパス(仮称)」を導入し、市内宿泊施設等とのバック商品を開発する。</p> <p style="text-align: right;">予算額 20万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者のフリーパスを活用した「広島市おもてなしパス(仮称)」付き宿泊プランを導入するホテル等を増やす。 ・特典を受けられる施設等を増やす。 ・路面電車以外の交通機関への展開について検討する。 ・当事業をモデルとして近隣市町でも実施されるよう、働きかける。 | <p>経済観光局 観光政策部 観光ビジネス担当</p> <p>TEL: 082-504-2676 E-mail: kankobiz@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>広島ならではの「おもてなし」として、訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じてもらえるよう、まち全体としての「観光起こし」を推進するための新規事業である。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|--|---|--|---|
| 観光の振興 | 美しい都市空間の形成 | <p>【事業名】 景観行政の推進</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1)目的 広島を歴史を伝える魅力的な資源や豊かな水と緑に恵まれた自然を生かした個性的で魅力ある景観の形成を図り、美しく品のある都市景観を創出する。</p> <p>(2)概要 平成16年12月の景観法の施行を受け、平成18年4月に広島市景観条例を制定し、平成20年2月にこの条例に基づく「景観形成基本計画」を策定した。 現在、この基本計画において「重点的景観形成地区」として位置付けられた地区を含む市域全域を対象とした「広島市景観計画」について、平成26年度中の策定に向けた取組を進めている。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市景観計画(骨子)の取りまとめ ・景観シンポジウムの開催 <p style="text-align: right;">予算額 481万8千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市景観計画(案)の作成 ・景観シンポジウムの開催 <p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市景観計画の策定・公表、運用開始 ・景観シンポジウムの開催 | <p>都市整備局 都市計画課 都市デザイン担当</p> <p>TEL:082-504-2277 E-mail:urban-d@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市景観計画の策定作業 ・景観シンポジウムの開催 <p style="text-align: right;">決算額 151万6千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|--------------------|------------|--|---|---|--|
| 観光の振興 | 美しい都市空間の形成 | <p>【事業名】 「水の都ひろしま」づくりの推進</p> <p>【事業の目的・概要等】 太田川、瀬戸内海は広島市の代表的な魅力資源であり、その魅力をより一層引き出していくため、「水の都ひろしま」構想(1)に基づき、「水辺空間における都市の楽しみ方の創出」、「都市型観光の主要な舞台づくり」、「水の都ひろしま」にふさわしい個性と魅力ある風景づくり」を目的として、「水の都ひろしま」づくりを推進する。</p> <p>(事業概要) ・水辺のコンサートの実施 原爆ドーム対岸親水テラス等で春・秋の土日にコンサートを実施する。 ・水辺のオープンカフェの実施 ・水の都ひろしま推進協議会(2)の運営など</p> <p>1 「水の都ひろしま」構想とは、本市の水辺の魅力をより一層引き出すため、平成15年1月に市民との協働により国・県・市で策定したものである。 2 「水の都ひろしま推進協議会」は、市民、観光関係者、学識経験者、行政(国・県・市)で構成され、「水の都ひろしま」づくりを推進するため、取組方針の検討・決定や事業の実施を行っている。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺のコンサートを実施(20回) ・水辺のオープンカフェは、京橋川7店舗、元安川1店舗で継続実施し、新たに本川に1店舗を展開 ・京橋川左岸に新店舗を開設するに当たり、ウッドデッキ等の実施設計を実施 ・水の都ひろしま推進協議会において、「水の都ひろしま推進計画」の改訂に向けた検討等を実施 <p>予算額 120万7千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺のコンサートの継続実施 ・水辺のオープンカフェの継続実施(京橋川7店舗、元安川1店舗、本川1店舗) ・京橋川オープンカフェの新規展開 平成25年度 ウッドデッキ等整備、出店者公募、選定 平成26年度 給排水等、通路舗装整備(店舗等整備) | <p>経済観光局 観光政策部 観光ビジネス担当</p> <p>TEL:082-504-2676 E-mail:kankobiz@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺のコンサートを実施(16回8,150人参加) ・水辺のオープンカフェは、京橋川7店舗、元安川1店舗で継続実施し、京橋川3店舗については出店者の再公募を実施 ・水の都ひろしま推進協議会において、組織の見直しの検討等を実施 ・川と海の航路の連携に関する社会実験として、県との協働で、モニターツアーを実施し、観光メニューとしての有効性等を検証 <p>決算額 157万円</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・水の都ひろしま推進協議会の運営 平成25年度 水の都ひろしま推進計画の改訂(計画期間:平成26年度からおむね10年間) 平成26年度～ 改訂した水の都ひろしま推進計画に基づく事業の実施 | |
| <p>特記事項 なし</p> | | | | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|---|---|--|--|
| 観光の振興 | 美しい都市空間の形成 | <p>【事業名】 路面電車の軌道敷緑化</p> <p>【事業の目的・概要等】 魅力的な都市景観を形成することで、平成25年4月19日から5月12日に開催される「第26回全国菓子大博覧会・広島」を一層盛り上げるため、その会場となる旧広島市民球場跡地前の軌道敷を緑化するものである。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者に対する整備費の補助 ・個人や企業等からの維持管理費への協力金などの支援制度導入に向けた検討等 <p style="text-align: right;">予算額 1,989万2千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成24年度の支援制度導入に向けた検討結果等を踏まえ、都心部における他の地区への拡大について、議会や市民の意見・評価などを総合的に勘案した上で、交通事業者と協議しながら、今後の事業展開について検討していく。</p> | <p>道路交通局 都市交通部 交通対策担当</p> <p>TEL: 082-504-2604 E-mail: koutsubu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドーム前電停区間の整備 <p style="text-align: right;">決算額 1,644万3千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>路面電車の軌道敷緑化の実施に向けて交通事業者と協議を行い、まずは、本市が主体となり、平成23年度に「原爆ドーム前」電停区間を先導的に整備し、引き続き、平成24年度に交通事業者が主体となり、旧広島市民球場跡地前区間を整備することとした。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|---|---|--|--|
| 観光の振興 | 美しい都市空間の形成 | <p>【事業名】 都心エリアのおもてなし環境整備</p> <p>【事業の目的・概要等】 本市の顔である都心エリアにおいて、以下の取組を実施することにより、おもてなし環境の整備を図る。</p> <p>(1)平和記念公園の便所は、建築後約30年が経過し、施設等の老朽化やユニバーサルデザインに対応していない状況であることから、平和記念公園の機能の向上やイメージアップを図るため建て替えを行う。</p> <p>(2)広島城址内の園路は、老朽化が著しいことから、順次、快適に歩けるよう改良を行う。</p> <p>(3)平和記念公園、平和大通り及び広島城址において、回数を増やすなど除草作業を強化する。</p> <p>(4)相生通りにおいて、照明柱が経年劣化により腐食、色あせしていること、また、配電盤がいたずら書きにより景観が損なわれていることから、これらの設備の塗り替えを行い、通りの美化を推進する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>(1)平和記念公園便所改善(便所建て替えの実施設計) (2)広島城址園路改良 (3)平和大通り、平和記念公園及び広島城址において、除草作業の強化 (4)相生通り照明柱等の再塗装</p> <p style="text-align: right;">予算額 2,636万4千円</p> <hr/> <p>前年度の取組実績</p> <p>・それぞれの取組の実施範囲及び方法の検討 ・平和記念公園便所改善の基本設計</p> <p style="text-align: right;">決算額 590万6千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>(1)平和記念公園において順次便所を建て替えることにより、公園の機能の向上等を図る。 (2)広島城址内の園路を順次改良する。 (3)平和大通り等の除草作業の強化を図る。 (4)相生通りに引き続き、都心エリアで塗装が劣化している平和大通り、城南通りの景観照明柱等の再塗装に新たに取り組む。</p> <p>こうした取組を通じて、本市の顔である「おもてなしの観光」の都心エリアにおいて、広島を訪れた人が「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じるようなおもてなし環境の整備を図る。</p> | <p>(1)～(3)の事業 都市整備局 緑化推進部 公園整備課</p> <p>TEL:082-504-2393 E-mail: park@city.hiroshima.lg.jp</p> <p>(4)の事業 道路交通局 道路部 道路課</p> <p>TEL:082-504-2369 E-mail: douroka@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|---|---|---|---|
| 観光の振興 | 観光資源の発掘・開発 | <p>【事業名】 全国菓子大博覧会の開催支援</p> <p>【事業の目的・概要等】 「第26回全国菓子大博覧会・広島(愛称:ひろしま菓子博2013)」の開催を支援することにより、地域の様々な産業に活力をもたらすとともに、まち全体のにぎわいを創出し、経済及び観光の振興を図る。</p> <p>本博覧会は、平成25年4月19日(金)～5月12日(日)の24日間、旧広島市民球場跡地、広島県立総合体育館とその周辺で開催する日本最大のお菓子の祭典である。</p> <p>「世界にとどけ! 笑顔をもすぶお菓子のちから」をテーマに、「人々を幸せにするお菓子のちから」を知っていただく複数のパビリオンを中心に展開し、期間中80万人の来場者を見込む。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菓子博レディ発表 ・前売券販売 ・PRキャラバン ・節目イベント開催 ・施設整備 等 <p style="text-align: right;">予算額 4,000万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>博覧会の開催(平成25年度)</p> | <p>経済観光局 経済企画・雇用推進課 菓子博覧会支援担当</p> <p>TEL:082-502-2838 E-mail: keizai@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会設置 ・基本計画策定 ・実施計画策定 ・シンボルマーク・マスコット決定 ・節目イベント開催 等 <p style="text-align: right;">決算額 1,000万円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|--|---|---|--|
| 観光の振興 | 観光資源の発掘・開発 | <p>【事業名】 観光客のニーズに即したまち歩きコースの情報提供 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 個人やグループの旅行者によるまち歩きの観光を促進するため、市内のガイド団体等が実施しているまち歩きのコースを取りまとめ、インターネットで情報提供する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内のガイド団体等が実施する「まち歩き」メニューをインターネット上で一体的にまとめ、「広島お好みまち歩き」として広く情報提供する。 まち歩き実施団体へ、目印となるのぼりを配付する。 「まち歩き」メニューをまとめたパンフレットを作成する。 <p style="text-align: right;">予算額 113万3千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>ホームページを最新の情報に随時更新するとともに、各区役所の取組とも連携した、魅力ある新たなまち歩きコースを順次増やしていく。</p> | <p>経済観光局 観光政策部 観光企画担当</p> <p>TEL:082-504-2243 E-mail: kankokika@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>広島ならではの「おもてなし」として、訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じてもらえるよう、まち全体としての「観光起こし」を推進するための新規事業である。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|---|---|-----------------------------------|--|
| 観光の振興 | 観光資源の発掘・開発 | <p>【事業名】 NHK大河ドラマ「平清盛」を活用した観光振興事業</p> <p>【事業の目的・概要等】 NHK大河ドラマ「平清盛」の放映に合わせ、県及び周辺市町等と連携して大河ドラマを活用した観光PR事業を実施することにより、自然や歴史・文化など、広島ならではの魅力を全国に発信して観光客の誘致を図る。</p> <p>(事業概要) ・広報宣伝事業 ・旅行商品の造成支援事業 ・受入態勢の整備事業 ・NHKとの連携事業 ・その他観光客の誘致促進、経済活性化に寄与する事業</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしま清盛隊」によるPR、公式サイト「ひろしま清盛」による情報発信等 ・旅行会社説明会の実施、旅行パンフレットの作成支援等 ・広島市中心部商店街と廿日市市や呉のドラマ館をつなぐスタンプラリーの実施等 ・大河ドラマの最後に放送される紀行候補地のPR など <p style="text-align: right;">予算額 1,337万5千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>なし</p> | <p>経済観光局 観光政策部 観光企画担当</p> <p>TEL: 082-504-2243 E-mail: kanko-kika@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間プロデューサーの任用、ロゴタイプやキャラクターの作成、新聞・雑誌等や観光展等での広報、ひろしま清盛隊の結成及びPR等 ・旅行会社等説明会の実施、旅行パンフレットの作成助成等 ・ガイドブック、マップ、モデルコース集の作成、「きよもりブルーライン」の運航等 ・大河ドラマの最後に放送される紀行候補地のPR等 <p style="text-align: right;">決算額 1,162万5千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|---|---|---|--|
| 観光の振興 | 観光資源の発掘・開発 | <p>【事業名】 修学旅行誘致活性化事業</p> <p>【事業の目的・概要等】 修学旅行で広島を訪れる学校を増やすため、全国の学校等への個別訪問による誘致活動のほか、県外教育関係者の招へい事業の実施など多様な誘致活動を行うとともに、体験型メニューの開発・充実を図る。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の学校等への個別訪問による誘致活動 ・県外教育関係者の招へい事業の実施 ・平和学習セミナーの開催 ・修学旅行誘致プレゼンテーションの実施 ・ガイドブックなどPR素材の充実等 <p>予算額 1,150万8千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の学校等への個別訪問による誘致活動 ・県外教育関係者の招へい事業の実施 ・平和学習セミナーの開催 ・修学旅行誘致プレゼンテーションの実施 ・ガイドブックなどPR素材の充実 ・平和学習に加え、各種メニューの強化を目指し、新しい体験型メニューの開発・充実 等 | <p>経済観光局 観光政策部 観光プロモーション担当</p> <p>TEL:082-504-2767 E-mail:kanko-pro@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の学校等への個別訪問による誘致活動 ・県外教育関係者の招へい事業の実施 ・平和学習セミナーの開催 ・修学旅行誘致プレゼンテーションの実施 ・ガイドブックなどPR素材の充実等 <p>決算額 1,079万8千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|--|---|--|---|
| 観光の振興 | 観光資源の発掘・開発 | <p>【事業名】 みなとオアシスにぎわいづくり 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 国が創設した「みなとオアシス」制度()を活用し、国や県と協力して、広島海の玄関である宇品地区周辺を中心に、市民等と連携した港のにぎわいづくりを行う。</p> <p>「みなとオアシス」制度とは、港湾施設を、市民等が地域交流の拠点として活用しやすくし、港のにぎわいを創出することを目的として、国土交通省が創設した制度である。 登録されると、国や県の協力により、開催イベントの内容が広く情報発信されたり、港湾施設の使用料が免除されるなどの支援を受けることができる。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・「帆船フェスタひろしま2012」の会場において、「みなとオアシス広島」の「本登録の認定証の授与式」を行うとともに、「みなとオアシス広島」のブースを出展し、「本登録に関連するイベント」を開催する。 ・年間を通じ、市民等による各種イベントを実施する。</p> <p style="text-align: right;">予算額 21万7千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>市民等のアイデアによる各種イベントの実施など、年間を通じた取組を定着させるとともに、港のにぎわいづくり事業を継続して推進していく体制づくりについて検討を行う。</p> | <p>都市整備局 みなと振興課</p> <p>TEL:082-504-2316 E-mail: minato@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <p>・平成23年3月の「みなとオアシス広島」の仮登録に伴い、年間を通じ、市民等によるイベントを実施した。</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>広島港の周辺には、倉庫や工場等が立地しており、人が海辺に近寄り難くなっている。また近年、島しょ部の過疎化の進展などによる船の利用者の減少等もあり、宇品周辺では、かつてのにぎわいが失われている。 このため、「みなとオアシス」制度を活用し、宇品地区周辺を中心に、にぎわいづくりを行うものである。</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|------------|--|---|--|---|
| 観光の振興 | 観光資源の発掘・開発 | <p>【事業名】 安佐動物公園整備</p> <p>【事業の目的・概要等】 安佐動物公園の魅力を向上し、減少傾向にある入園者数を増やすため、活性化策を検討・実施する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・活性化の検討・実施 指定管理者において活性化担当課長を配置し、前年度に取り組んだ「課題の抽出と対応の視点の取りまとめ」を基に、具体的な対応を含めた動物公園全体の次の活性化策を検討・実施</p> <p>(1) 広報活動の充実等 (2) ボランティア組織の充実等 (3) 参加型イベント拡充等 (4) 食堂・物販施設の充実等 (5) 新たな動物の導入等</p> <p>・施設の改修・新設 チーター展示施設整備、シカ舎改修工事、等</p> <p style="text-align: right;">予算額 8,140万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>指定管理者である(公財)広島市みどり生きもの協会と連携を図りながら新たな活性化策を検討・実施する。</p> | <p>都市整備局 緑化推進部 緑政課</p> <p>TEL:082-504-2390 E-mail: park@city.hiros hima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <p>・活性化の検討 課題の抽出と対応の視点の取りまとめ</p> <p>・施設の改修・新設 チンパンジー舎改修工事等、シカ舎改修工事、キリンテラス整備</p> <p style="text-align: right;">決算額 4,623万3千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|---------------|---|---|--|--|
| 観光の振興 | 近隣市町と連携した観光振興 | <p>【事業名】 広島県観光キャンペーンへの参画</p> <p>【事業の目的・概要等】 広島県の観光キャンペーンは、昭和59年に「SunSun ひろしま」をキャッチフレーズとしてスタートし、キャンペーン期間後も誘客促進等を図った成果を継承という視点で継続的に参画している。 平成23～25年度の3か年で、「瀬戸内ひろしま、宝しま」をブランドキーワードとし、ひろしまブランド化キャンペーンを展開しており、広域化する観光ニーズに対応するため、この事業に参画し、広島への観光客の誘致や宣伝活動を強力に推進する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報の発信 ウェブサイト・新たな発信ツールの活用、県外大規模イベントへの参加、観光情報誌発行、観光ガイドブック作成等 旅行商品の販売促進 全国宣伝販売促進会議の開催（JRディスティネーションキャンペーン）、旅行会社等へのインセンティブ事業の実施、ウインターキャンペーン等 <p style="text-align: right;">予算額 2,000万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>平成23～25年度でひろしまブランド化キャンペーンを展開しており、引き続きその成果を継承し、広島県と連携を取りながら、広島への観光客の誘致や宣伝活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報の発信 商品化につながる素材開発 旅行商品の販売促進 | <p>経済観光局 観光政策部 観光プロモーション担当</p> <p>TEL:082-504-2767 E-mail:kanko-pro@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報の発信 旅行商品流通サイトの活用、県外大規模イベントへの参加、「広島さんぽ」発行等 商品化につながる素材開発 コンテンツ・コミッション事業の実施、広域観光連携事業の実施等 旅行商品の販売促進 旅行会社等へのインセンティブ事業の実施、観光情報説明会の開催等 <p style="text-align: right;">決算額 1,000万円</p> | | | |
| | | <p>特記事項 なし</p> | | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|---------------|--|---|--|---|
| 観光の振興 | 近隣市町と連携した観光振興 | <p>【事業名】 広島・宮島・岩国地域観光圏事業</p> <p>【事業の目的・概要等】 観光立国の実現に向けて国際競争力の高い魅力ある観光地の形成による2泊3日以上滞る滞在型観光を促進するため、近隣の観光地と連携し、共同した商品開発事業や魅力発信事業を行う。</p> <p>(事業概要) ・滞在型旅行商品化事業 (国内宿泊予約サイトを活用した商品開発) ・食の魅力発信事業 ・新しい夜の魅力メニュー開発事業 (原爆ドーム・厳島神社・錦帯橋の連携ライトアップ、夜神楽の旧日本銀行広島支店での実施) ・魅力ある着地メニュー開発事業 ・魅力ある二次交通整備事業 ・観光案内・情報発信機能充実事業 ・モニタリング事業</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連泊プランの実施(観光圏内で連泊した方に観光施設や土産物店などの割引特典を設定) ・「I-フェスタ」(岩国市)の実施等 ・原爆ドーム等の連携ライトアップ、夜神楽の実施 ・着地メニューの実施及びPR ・宮島と音戸を結ぶ直行高速船「きよもりブルーライン」のPR ・観光圏ホームページの充実、PRツール(チラシ、ポスター等)の作成等 など <p style="text-align: right;">予算額 400万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光庁の補助金交付を受けて実施した観光圏事業計画が平成24年度で終了する。 ・平成25年以降は、近隣市町の魅力ある観光資源を活用し、新たな広域観光ネットワークの構築と広域観光ルートの開発の検討を進めていく。 ・さらに、新たな広域連携による観光事業として、瀬戸内海を観光資源として生かすため、松山市との連携を図り、広域旅行商品の開発や共同プロモーション事業に取り組む。 | <p>経済観光局 観光政策部 観光企画担当</p> <p>TEL:082-504-2243 E-mail:kankokika@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連泊プランの設定 ・「I-フェスタ2011」(岩国市)の実施等 ・原爆ドーム等の連携ライトアップ、夜神楽の実施 ・呉市・熊野町モニターツアーの実施等 ・広島湾クルーズの運航 ・観光ホームページの充実、PRツール(チラシ、手提げ袋、ポスター等)の作成・配布、九州・関西地方のマスメディア等を活用したPR など <p style="text-align: right;">決算額 400万円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

1 活力にあふれにぎわいのあるまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|---------------|---|--|--|--|
| 観光の振興 | 近隣市町と連携した観光振興 | <p>【事業名】 インバウンド推進事業</p> <p>【事業の目的・概要等】 国や広島県、市町と連携し、外国人観光客の誘致活動を行うことで、本市を訪問する外国人観光客数の増加を図る。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・インバウンド(外国人旅行者の来訪促進)推進事業の実施 中国、韓国、台湾、米国等を対象としたインバウンド商品化事業、訪日教育旅行促進事業等</p> <p style="text-align: right;">予算額 793万4千円</p> <hr/> <p>前年度の取組実績</p> <p>・インバウンド(外国人旅行者の来訪促進)推進事業の実施 中国、韓国、台湾、米国等を対象としたインバウンド商品化事業、訪日教育旅行促進事業等</p> <p style="text-align: right;">決算額 638万1千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>・インバウンド(外国人旅行者の来訪促進)推進事業の実施 中国、韓国、台湾、米国等を対象としたインバウンド商品化事業、訪日教育旅行促進事業 等</p> <p>・訪日外国人旅行者の受入環境向上事業の実施 重点的に整備すべき施設を考慮した無料公衆無線LANの環境づくりに向け、無料公衆無線LANの公共観光施設等への導入、民間企業への導入促進 等</p> | <p>経済観光局 観光政策部 観光プロモーション担当</p> <p>TEL:082-504-2767 E-mail:kanko-pro@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>平成24年度は国が実施する「広島における訪日外国人旅行者の受入環境整備に係る外客受入戦略拠点整備事業」により、外国人対応ができる観光案内所ネットワーク及び地域の魅力を体感できるモデルコース等を構築することで、外国人旅行者が滞在時を自由に満喫できる環境を整備する。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|--------|----------|---|---|--|---|
| 雇用の促進等 | 雇用施策への取組 | <p>【事業名】 ハローワークの権限移譲に向けた取組 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 就職だけでなく、生活・福祉等を含めた求職者本位のトータル支援により、住民サービスの向上を図るとともに、生活保護費の抑制、地元中小企業の活性化につなげるため、区役所にハローワークのサテライト窓口を設置し、雇用施策と生活・福祉施策の一体的な実施に取り組む。 その成果や課題を検証しながら、本市へのハローワークの事務・権限の移譲を目指した取組を推進する。</p> | <p>当該年度の事業計画 平成24年7月 ・サテライト窓口設置に関して、広島労働局と協定締結 ・巡回型サテライト窓口事業開始 (南区、佐伯区)</p> <p>平成25年1月 常設型サテライト窓口事業開始 (南区、佐伯区)</p> <p style="text-align: right;">予算額 0千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 平成24年度に事業開始した2区役所での成果や課題を検証しながら、実施箇所や対象者の拡大等に取り組むとともに、他の政令指定都市と連携しながら、国に対して早期移管に向けた提言や要望を行う。</p> | <p>企画総務局 企画調整部 分権・行政改革推進課</p> <p>TEL: 082-504-2017 E-mail: gyoukaku@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績 平成23年10月 政府の「アクション・プラン」に基づく本市提案提出</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 雇用施策は国が一元的に担っているが、雇用施策と生活・福祉施策は住民に身近な基礎自治体が一体的に実施した方が効果的・効率的である。 こうした考えの下、本市では、真の分権型社会の実現に向けた取組の一環として、ハローワークの事務・権限の移譲を目指した取組を推進することにしたものである。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|----------|---------------|--|--|--|--|
| 保健・医療の充実 | 健康寿命の延伸に向けた取組 | <p>【事業名】 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 高齢者の肺炎球菌による感染症を予防するとともに、高齢者の肺炎に係る医療費の抑制を図るため、高齢者が肺炎球菌ワクチンを接種した場合の費用の一部を助成する。</p> <p>・助成開始時期：平成24年10月（予定） ・助成対象者：市内在住の75歳以上の者（健康保険適用者を除く。） ・接種方法：市内の医療機関で個別に接種 ・助成額：3,000円 ・助成回数：1回（再接種は対象外）</p> | <p>当該年度の事業計画 助成件数 約16,000件</p> <p>・7月中に医師会と接種及び助成手続について協議・調整 ・8月中に接種に係る予診票や啓発ポスター等を発注 ・8月下旬に各医療機関に接種及び助成手続について通知 ・10月1日に市民と市政及び市のホームページで広報を実施 ・10月中旬から接種開始</p> <p style="text-align: right;">予算額 5,120万5千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 現在、国において法に基づく定期接種とするよう検討が行われていることから、その状況を踏まえて対応していく。</p> | <p>健康福祉局 保健部 保健医療課</p> <p>TEL：082-504-2622 E-mail： healthed@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 高齢者への肺炎球菌ワクチンの接種は、肺炎球菌による肺炎の重症化を抑制し、医療経済的にも保険医療費の抑制にもつながると考えられることから実施について検討を行った結果、広島県後期高齢者医療広域連合からの補助を活用できるめどがたったこともあり、平成24年度から接種費用の一部助成を実施するものである。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|----------|--------------|---|--|---|--|
| 保健・医療の充実 | 医療提供体制の充実・強化 | <p>【事業名】 市立病院の経営改善方策の検討 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 市立病院ではこれまで、救急医療等の政策医療や高度で先進的な医療の提供等に積極的に取り組んできた。今後も、こうした医療機能の維持・向上を図るなど、市立病院に求められる役割を果たしていく必要がある。 そのためには、病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応するとともに、安定した経営を維持し、そして何より、必要な医療スタッフの確保、意欲的に働ける病院であることが必要である。 こうしたことから、「今後の市立病院にとって望ましい経営形態」、経営形態の見直しを行う場合における「新たな経営形態の下での市立病院の連携のあり方」について、「市立病院経営改善方策検討委員会」において検討するものである。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月末： 「病院の経営形態について」委員会の中間報告 ・11月末： 「病院間の連携のあり方」を含めた委員会の最終報告 ・12月末： 委員会での意見を踏まえ、病院事務局として、病院の経営形態等の取りまとめ ・年度内に、市としての方針決定 <p style="text-align: right;">予算額 110万2千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>市の方針決定に基づき、病院の経営形態の見直しを実施する。</p> | <p>病院事務局 経営管理課 企画担当</p> <p>TEL : 082-504-2756 E-mail : hkanri@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>医療費の抑制を基調とした医療制度改革や診療報酬改定、医療の高度化など、今後とも医療を取り巻く環境の大きな変化が見込まれる中、様々な制約のある現行の枠組みでは、安定した経営の下でのより充実した医療サービスの提供を展望することが困難であることから、今回の検討を行うものである。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|----------|--------------|---|---|---|--|
| 保健・医療の充実 | 医療提供体制の充実・強化 | <p>【事業名】 安佐市民病院の建替等の検討</p> <p>【事業の目的・概要等】 昭和55年5月に開設した安佐市民病院の南館は、現在の耐震基準を満たしておらず、また、老朽化・狭隘化していることから、早期建替が必要となっている。このため、同病院の建替に向けた検討を行う。</p> <p>(現況) ・診療科目数:23科 ・病床数:一般病床527床 ・敷地面積:29,131㎡ ・病院延床面積:31,518㎡(南館:8階建、北館:7階建)</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>安佐市民病院建替等検討に係る基本構想策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院機能のあり方、方向性の検討 ・建設場所の検討 ・整備内容の検討 <p style="text-align: right;">予算額 1,300万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>今年度策定する基本構想に基づき、基本計画、基本設計、実施設計を実施する。</p> | <p>病院事業局 経営管理課</p> <p>TEL:082-504-2663 E-mail: hkanri@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <p>安佐市民病院建替等検討に係る基礎調査</p> <p style="text-align: right;">決算額 500万円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>安佐市民病院の早期建替に着手するとともに、可部地区全体の活性化も視野に入れて取り組む。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------|---------|---|---|--|---|
| 福祉の充実 | 地域福祉の推進 | <p>【事業名】 総合福祉センター整備検討 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 すべての区に地域福祉の活動拠点が整ったことから、今後は、各拠点に対する総合的な支援機能の強化が重要な課題となる。 また、高齢化が進行する中、元気で活動的な高齢者を「社会を支える存在」として捉え、一層の地域福祉の充実を図っていく必要が生じていることから、老人大学の拡充・強化、高齢者の就労支援などの各種事業の展開が必要となっている。 しかしながら、現在この役割を担う社会福祉センターは、施設の老朽化が進み、耐震化やバリアフリー化にも対応できておらず、機能を拡充するためのスペースの確保も困難であることから、その機能を拡充・強化した総合福祉センター(仮称)を、高齢者や障害者にとっても利用しやすい広島駅南口Bブロック市街地再開発ビル内に整備することとし、必要な機能や規模等を検討し、整備内容を取りまとめる。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉センター(仮称)に必要な機能や諸室の規模等の検討を進め、各階及び諸室平面図等を作成し、整備内容を取りまとめる。 ・9月議会において、土地及び建物の取得に要する経費についての補正予算(債務負担行為の設定を含む)を提案 ・平成24年度末～再開発ビルの建設工事 <p style="text-align: right;">予算額 85万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度末～平成27年度末 再開発ビルの建設工事 ・平成28年度初頭 総合福祉センター(仮称)の開設 | <p>健康福祉局 健康福祉企画課</p> <p>TEL:082-504-2137 E-mail: kenkoufukushi@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績</p> <p>なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>平成8年に、広島市社会福祉協議会から総合福祉センター(仮称)の早期建設を求める要望書が提出され、以来、毎年、要望書が提出されてきた。こうした中、本年1月に佐伯区地域福祉センターが開設し、すべての区に地域福祉の活動拠点が整い、今後は、各拠点に対する総合的な支援機能の強化が重要な課題となってきたこと、また、整備場所として検討していた広島駅南口Bブロック地区の市街地再開発事業について、事業化の見通しが得られる状況になってきたことから、総合福祉センター(仮称)整備の具体化を図ることとしたものである。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | 担当局・課名等 | |
|-------------|--------------------------|--|---|---|--|
| 未来を担う子どもの育成 | 安心して子どもを生き育てることのできる環境づくり | <p>【事業名】 民間保育園整備補助</p> <p>【事業の目的・概要等】 平成22年3月に策定した「広島市保育計画」において、平成22年度から平成26年度までの5年間で私立保育園の新設等により2,764人の定員増を行い、平成27年度当初に待機児童をゼロにするという目標を掲げ、積極的に定員増に取り組んでいる。 具体的には、私立保育園の新設や私立幼稚園の認定こども園化などにより、今年度当初までに2,197人の定員増を行ってきた。そのうち、安心こども基金等を活用した施設整備補助による定員増は、1,528人である。</p> <p>< 施設整備補助による定員増の内訳 > ・私立保育園の新設 3園(370人) ・私立保育園の増築・増改築 6園(325人) ・私立保育園の分園 5園(328人) ・私立幼稚園の認定こども園化 7園(505人) 計 21園(1,528人)</p> <p>施設整備補助以外による定員増(669人)は特記事項のとおり。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育園の分園 1園(36人) ・私立保育園の増改築 1園(37人) ・私立幼稚園の認定こども園化 1園(41人) <p style="text-align: right;">計 3園(114人) ()は定員増数</p> <p style="text-align: center;">予算額 3億9,928万2千円</p> <hr/> <p>前年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育園の新設 2園(280人) ・私立保育園の増築 1園(50人) ・私立幼稚園の認定こども園化 4園(285人) <p style="text-align: right;">計 7園(615人) ()は定員増数</p> <p style="text-align: center;">決算額 9億2,758万5千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 待機児童の現状を的確に把握・分析し、より正確な需要予測を行った上で、効果的な保育園整備を行う。</p> | <p>こども未来局 保育指導課</p> <p>TEL:082-504-2154 E-mail:ko-sidou@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>特記事項</p> <p>施設整備補助以外にも次のとおり669人の定員増に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市からの補助金を受けない自主整備による私立保育園の新設 6園(450人) ・既存保育園の定員変更 20園(219人) | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------------|--------------------------|---|--|---|--|
| 未来を担う子どもの育成 | 安心して子どもを生き育てることのできる環境づくり | <p>【事業名】 地域子育て支援拠点事業</p> <p>【事業の目的・概要等】</p> <p>(1) 目的 乳幼児及びその保護者がいつでも気軽に集い、相互交流を図るとともに子育てについての相談が受けられる場を設けることにより、子育て家庭の孤立化を防止し、保護者の子育てに対する不安や負担感の軽減及び地域における子育て力の向上を図る。</p> <p>(2) 概要 ア 事業内容 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 子育てに関する相談、助言の実施 地域の子育てに関する情報提供 子育てに関する講習会の実施 など イ 開所日 週5日以上、1日5時間以上 ウ 職員 保育士等の専任の職員2名以上</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・各区に1箇所、地域福祉センター内等に設置している公設の常設オープンスペースの運営 ・新たに、NPO法人等が運営する公募型常設オープンスペースに対する補助の実施(安佐南区及び安佐北区、各1箇所)</p> <p style="text-align: right;">予算額 7,545万3千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>既存の常設オープンスペースの設置地域(中学校区)以外で、0~2歳人口が多いなど利用者ニーズの高い地域において、NPO法人等が公募型常設オープンスペースを設置運営する場合には、補助を行う。なお、補助事業については、実施状況を見ながら見直しを検討していく。</p> | <p>こども未来局 こども・家庭支援課</p> <p>TEL:082-504-2623 E-mail:ko-shien@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <p>公設の常設オープンスペースの運営</p> <p>【平成23年度実績】 延べ開所日数:1,883日 延べ利用者数:130,967人 (1箇所当たり1日平均約70人)</p> <p style="text-align: right;">決算額 6,339万円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>核家族化の進展や地域のつながりの弱体化などによる子育て家庭の孤立化や児童虐待の問題などに対応するため、共働き家庭のみならず子育て家庭を支援する必要があることから、平成24年度から、新たに、NPO法人等が運営する公募型常設オープンスペースに対する補助を実施し、住民主体の子育て支援活動を促進するとともに地域における子育て支援機能の充実を図っていく。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------------|----------------------------------|---|---|---|--|
| 未来を担う子どもの育成 | 家庭・地域社会・学校が役割と責任に応じて子どもを育てる環境づくり | <p>【事業名】 まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 (1) 目的 家庭・地域と学校の連携・協力による「まちぐるみの教育」を充実・強化し、子どもの健やかな成長を図る。</p> <p>(2) 概要 中学校1校(平成24年度:東区二葉中学校)をモデル校に指定し、その中学校の学校協力者会議に事業を委託するとともに、調整役となるコーディネーター1名を配置し、家庭・地域による教育支援活動及び学校による地域貢献活動を推進する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>(1) 家庭・地域による教育支援活動 ・放課後学習会及び夏休み学習会</p> <p>(2) 学校による地域貢献活動 ・地域清掃活動 ・花と緑の広島づくりに係る活動</p> <p style="text-align: right;">予算額 104万円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>・平成25年度以降は、コーディネーターの確保が可能な中学校から順次拡大する予定である。</p> <p>・平成27年度には、各区で1校以上の実施を目標とする。</p> | <p>教育委員会 指導第一課</p> <p>TEL:082-504-2784 E-mail:kyo-sido1@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>家庭・地域・学校の連携・協力による「まちぐるみの教育」を充実・強化し、子どもの健やかな成長を図るため、既存の学校協力者会議を見直し、中学校の学校協力者会議「提言部会」に代えて、新たに「学校支援・地域貢献部会」を設置し、家庭・地域による学校への教育支援活動や学校による地域貢献活動をより一層促進するものである。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|------------------|---------------------------------------|---|-------------------|--|---|
| スポーツ・文化 芸術の振興 | 健康の保持増 進とまちの活性 化に向けたス ポーツの振興 | 【事業名】 沼田高等学校寮建設 | 当該年度の事業計画 実施設計 | 平成27年度までの事業展開の予定 平成25年度 建設工事 平成26年度 入寮開始 | 教育委員会 施設課 |
| | | 【事業の目的・概要等】 (1) 目的 沼田高等学校に体育コースの生徒を 対象とした寮を建設し、生徒の生活環境 を整備し、体育コースの活性化を図る。 | 予算額 1,330万円 | | TEL:082-504- 2472 E-mail: kyo- sisetsu@city.hi roshima.lg.jp |
| | | (2) 事業の概要 ア 建設場所 沼田高等学校敷地内 (広島市安佐南区伴東) イ 建設費 4億4,833万5千円 ウ 施設 鉄筋コンクリート造4階建 (定員80名) エ 延床面積 約1,600m ² | 前年度の実績 なし | | 教育委員会 学校教育部 指導第二課 TEL:082-504- 2704 E-mail: kyo- sido2@city.hiro shima.lg.jp |
| | 決算額 0千円 | 特記事項 体育コースの使命は、「生徒の個性や能力を伸長するとともに、競技力の向上を図る、将来の指導者として豊かな感性と創造性を持った人材の育成を図る、広島の高校スポーツ界をリードする」ことであるが、現状では、競技力の低迷、長距離通学による市外出身者の減少、20名の生徒が下宿生活をするなど、保護者の不安と負担等の課題がある。 このため、新たに寮を建設し、生徒の生活環境を整備することにより、高い資質を持った生徒の入学や、競技力の向上など、体育コースの活性化を図ろうとするものである。 | | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|--|---|---|--|--|---|
| スポーツ・文化 芸術の振興 | 豊かな人間性 の かん 養とまち の活性化に向 けた文化芸術 の振興 | <p>アニメーションフェスティバルの開催等</p> <p>【事業名】 「第14回広島国際アニメーションフェスティバル」の開催補助</p> <p>【事業の目的・概要等】 「愛と平和」のテーマの下に、国境や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じ、世界平和の実現とアニメーション芸術の普及・発展に寄与するため広島国際アニメーションフェスティバルを開催する。</p> <p>< 第14回大会の概要 > ・期間、場所：平成24年8月23日～27日 アステールプラザ</p> <p>・主催：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、(財)広島市未来都市創造財団 共催：国際アニメーションフィルム協会日本支部</p> <p>・主な内容：コンペティション(過去最多の応募作品2,110本から選考された66作品の公開審査)、特別プログラム、サブイベント</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>第14回広島国際アニメーションフェスティバル</p> <p>・選考審査 5月10日～27日：映像文化ライブラリー</p> <p>・本大会 8月23日～27日：アステールプラザ</p> <p>・大会広報活動、関連イベント開催等</p> <p style="text-align: right;">予算額 4,267万4千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>・平成25年度 第15回大会準備</p> <p>・平成26年度 第15回大会開催(8月)</p> <p>・平成27年度 第16回大会準備</p> <p>第15回大会の開催に向けて、引き続き関連イベントの開催や既存の大型観光イベント等の活用により、積極的に大会の周知を図り、観光客誘致やまちのにぎわいにつなげていく。</p> | <p>市民局 文化スポーツ部 文化振興課</p> <p>TEL：082-504-2500 E-mail： bunka@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| <p>前年度の取組実績</p> <p>実行委員会の設置、広報活動、作品募集等</p> <p style="text-align: right;">決算額 2,905万7千円</p> | | | <p>特記事項</p> <p>なし</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|------------------|---|---|---|--|---|
| スポーツ・文化 芸術の振興 | 豊かな人間性 の かん 養とまち の活性化に向 けた文化芸術 の振興 | アニメーションフェスティバルの開催等 【事業名】 「第14回広島国際アニメーションフェ スティバル」市民前夜祭の開催 新規 【事業の目的・概要等】 市民がアニメーションフェスティバル を身近に感じ、誇りに思えるよう、市民 団体や経済団体等と連携し、市内中 心部で、大会関係者を歓迎し、大会開 催を祝う市民前夜祭及びパレードを開 催する。 | 当該年度の事業計画 市民前夜祭及びパレードの開催 8月22日(水)、アリスガーデンほか 予算額 120万9千円 | 平成27年度までの事業展開の予定 平成26年度、第15回大会の市民 前夜祭開催(8月)を目指す。 | 市民局 文化スポーツ 部 文化振興課 TEL: 082-504- 2500 E-mail: bunka@city.hir oshima.lg.jp |
| | | | 前年度の取組実績 なし 決算額 0千円 | | |
| | | | 特記事項 広島国際アニメーションフェスティバルを、より市民に親しまれる大会にする ための新たな取組として実施するものである。 | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|------------------|--|---|--|---|--|
| スポーツ・文化 芸術の振興 | 豊かな人間性 のかん養とまち の活性化に向 けた文化芸術 の振興 | アニメーションフェスティバルの開催等 【事業名】 広島メディア芸術振興プロジェクトの 実施 新規 【事業の目的・概要等】 アニメーションをはじめとしたメディア 芸術コンテンツの振興と人材育成を図 るため、関係機関で構成する推進会 議を開催するとともに、大学、専門学 校、市民団体等と連携してメディア芸 術振興に関するイベントやクリエー ター養成に向けた事業を実施する。 | 当該年度の事業計画 ・プロジェクト会議の開催 ・プロジェクト事業の実施(関連イベ ント「全て見せます！アニメーション 力展」「広島あにこむ2012」等の開 催、デジタルサイネージ等を活用し た学生制作コンテンツの発信等) 予算額 69万6千円 | 平成27年度までの事業展開の予定 平成25年度以降もプロジェクト会 議での検討を踏まえて、まちのにぎ わいや観光客誘致、コンテンツ産業 の育成につなげていくため、順次プ ロジェクト事業の拡大実施に向けた 取組を進める。 | 市民局 文化スポーツ 部 文化振興課 TEL:082-504- 2500 E-mail: bunka@city.hir oshima.lg.jp |
| | | | 前年度の取組実績 なし 決算額 0千円 | | |
| | | | 特記事項 これまで広島国際アニメーションフェスティバルを開催することにより培わ れてきたメディア芸術の素地を生かし、まちのにぎわいや観光客誘致、コン テンツ産業の育成につなげていくなど、より広がりのあるものにするため、 新たに実施するものである。 | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|------------------|--|---|---|--|--|
| スポーツ・文化 芸術の振興 | 豊かな人間性 のかん養とまち の活性化に向 けた文化芸術 の振興 | <p>【事業名】 広島交響楽団等による花と音楽のイ ベント 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 市民や広島を訪れる人たちの誰もが音 楽文化と四季折々の花々に触れることが できるよう、広島交響楽団による四季を 感じられるコンサートを年3回シリーズとし て実施する。</p> <p>シリーズ名：「音楽の花束～広響名曲 コンサート」</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>音楽の花束～広響名曲コンサート 開催日： 平成24年 5月 2日(水) 春 平成24年10月14日(日) 秋 平成25年 2月 24日(日) 冬 場所：広島国際会議場 フェニックスホール</p> <p style="text-align: right;">予算額 872万9千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定 平成25年以降も年3回のコンサ ートを実施し、「花と緑の広島づくり」 の取組を一層推進する。</p> | <p>市民局 文化スポーツ 部 文化振興課</p> <p>TEL：082-504- 2500 E-mail： bunka@city.hir oshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>市民が優れたクラシック音楽を気軽に鑑賞できる機会を設け、音楽文化 の振興を図るとともに、会場の生花装飾等の充実や、他の部局の事業等と の連携により、「花と緑の広島づくり」の取組を推進するため、新たに実施 するものである。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | 担当局・課名等 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---------------------|---|--|---------|-------|-----|---------------|-------|------|---------------|------|------|---------------|------|---|--|
| 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 | 地域の実情に応じた市民主体のまちづくり | <p>【事業名】 区の魅力と活力の向上推進 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 区役所が、市政車座談義や区長と住民の対話等を踏まえ、住民との連携・協働の下、企画・立案力を十分発揮し、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動を、地域団体等への補助金の交付や委託及び物品の提供等により効果的に支援することによって、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを推進する。</p> <p>(補助制度の概要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助年度</th> <th>補助率</th> <th>補助限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初年度</td> <td>補助対象経費の3分の2以内</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>2年度目</td> <td>補助対象経費の2分の1以内</td> <td>70万円</td> </tr> <tr> <td>3年度目</td> <td>補助対象経費の3分の1以内</td> <td>35万円</td> </tr> </tbody> </table> | 補助年度 | 補助率 | 補助限度額 | 初年度 | 補助対象経費の3分の2以内 | 100万円 | 2年度目 | 補助対象経費の2分の1以内 | 70万円 | 3年度目 | 補助対象経費の3分の1以内 | 35万円 | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体等への補助金の交付 ・地域団体等への委託、物品の提供 <p>・まちづくり支援センターにおける相談・助言</p> <p>予算額9,216万6千円</p> <p>前年度の実績 なし</p> <p>決算額 千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定より効果的な支援になるよう、事業実績等を踏まえ、支援方法などの見直しを行う。</p> <p>市民局 市民活動推進課</p> <p>TEL:082-504-2677 E-mail: toshikan@city.hiroshima.lg.jp</p> <p>(事業実施担当課) 各区地域起こし推進課</p> |
| 補助年度 | 補助率 | 補助限度額 | | | | | | | | | | | | | | |
| 初年度 | 補助対象経費の3分の2以内 | 100万円 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年度目 | 補助対象経費の2分の1以内 | 70万円 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年度目 | 補助対象経費の3分の1以内 | 35万円 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>区役所が地域住民等との連携・協働の下、各区の地域資源や特性を生かした地域起こしを推進し、より幅広く市民のまちづくり活動を支援できるよう、「魅力向上プロジェクト」、「住民に身近な地区別まちづくりビジョン推進費補助金」、「コミュニティ助成」、「地域防犯活動等事業補助」の4事業を包括的な制度に統合し、平成24年度に新設した事業である。</p> | | | | | | | | | | | | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------------------|-------------------|--|---|--|---|
| 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 | 犯罪や事故の起こりにくいまちづくり | <p>【事業名】 「減らそう犯罪」推進事業</p> <p>【事業の目的・概要等】 まちを明るくして犯罪を起こりにくくするなど、「門灯点灯」をスローガンとする一家一事業所一点灯運動、「減らそう犯罪」区民大会の開催、自主防犯パトロール隊への資機材の提供などにより、市民の防犯意識の向上を図る。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一家一事業所一点灯運動について、「門灯点灯」をスローガンに掲げるとともに、地域ぐるみの取組状況を把握するため、町内会長等を対象にアンケート調査を実施し、より効果的な事業展開を検討 ・「減らそう犯罪」区民大会や防犯講習会の開催、暴力団排除条例に基づく暴力団排除活動の推進、自主防犯パトロール隊への資機材の提供などを実施 <p style="text-align: right;">予算額 442万6千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一家一事業所一点灯運動について、アンケート結果を基に、平成25年度に、より効果的な取組を実施する。平成26年度以降も、平成25年度の実施状況を踏まえ、引き続き効果的な取組となるよう検討・実施する。 ・「減らそう犯罪」区民大会の開催などその他の事業についても、市民の防犯意識の向上を図るため、引き続き実施する。 | <p>市民局 市民安全推進課</p> <p>TEL:082-504-2711 E-mail: minbo@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの配布などによる一家一事業所一点灯運動の推進、「減らそう犯罪」区民大会や防犯講習会の開催、暴力団排除活動の推進、自主防犯パトロール隊への資機材の提供などを実施 <p style="text-align: right;">決算額 492万1千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|-------------------|---------------------|--|---|---|--|
| 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 | 災害に強く安心して生活できるまちづくり | <p>【事業名】 東日本大震災を踏まえた防災対策の推進 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 東日本大震災で顕在化した防災上の様々な課題を踏まえ、国や県等と連携して現行の地震被害想定や地域防災計画の見直しを適宜、適切に行い、防災対策の充実・強化を図るものである。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震被害想定調査の実施 防災会議の充実[専門委員の増員(2人 5人)、会議開催回数増(年1回 2回)] 浸水時緊急退避施設の指定及び指定標識作成・設置 地域と連携した小学校区ごとのハザードマップの作成・配布 防災意識啓発物(DVD、リーフレット)の作成・配布 <p>予算額 2,381万3千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震被害想定調査の結果に基づき、その内容を避難体制(避難場所の選定、備蓄物資の数量等)や建築物の耐震化対策の見直しなど防災対策に反映させる。 国の防災基本計画の修正等に迅速かつ集中して対応するため、平成25年度までを目途に防災会議の充実を図る。 浸水時緊急退避施設については、順次追加指定を行い、指定標識を設置する。 地域と連携して小学校区ごとのハザードマップを順次作成・配布し、同マップを活用した避難訓練等を実施する。 防災意識啓発物(DVD、リーフレット)を活用した防災研修会の実施等による市民の防災意識・防災行動力の向上を図る。 | <p>消防局 危機管理部 防災課</p> <p>TEL:082-546-3441 E-mail: fs-bosai@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <p>防災会議を2回開催し「早期に実施する取組」、「国の防災基本計画の修正(平成23年12月)等を踏まえて実施する取組」などについて地域防災計画を修正の上、各取組を実施</p> <p>決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>東日本大震災を契機に、市の防災対策の充実・強化を図るものとして実施する。</p> | | |

2 ワーク・ライフ・バランスのまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|--|--|-------------|---------|------------|-----|--------|-----|----------|----|--|--------|-------|--------|-------|--------|------|---|
| 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 | 災害に強く安心して生活できるまちづくり | <p>【事業名】 校舎等耐震化対策</p> <p>【事業の目的・概要等】 学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を担うことから、平成27年度末までに園舎校舎の耐震化を完了することを目標に取り組む。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <table border="0"> <tr> <td>耐震補強工事立案・評価</td> <td>31校</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事実施設計</td> <td>13校</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事</td> <td>36校</td> </tr> <tr> <td>改築工事実施設計</td> <td>2校</td> </tr> </table> <p>予算額 36億3,898万4千円</p> | 耐震補強工事立案・評価 | 31校 | 耐震補強工事実施設計 | 13校 | 耐震補強工事 | 36校 | 改築工事実施設計 | 2校 | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>耐震化率の目標値</p> <table border="0"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>91.6%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>100%</td> </tr> </table> | 平成25年度 | 83.1% | 平成26年度 | 91.6% | 平成27年度 | 100% | <p>教育委員会 施設課</p> <p>TEL:082-504-2472 E-mail:kyo-shisetsu@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | 耐震補強工事立案・評価 | 31校 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 耐震補強工事実施設計 | 13校 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐震補強工事 | 36校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改築工事実施設計 | 2校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成25年度 | 83.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成26年度 | 91.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成27年度 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>前年度の実績</p> <table border="0"> <tr> <td>耐震補強工事立案・評価</td> <td>23校</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事実施設計</td> <td>65校</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事</td> <td>50校</td> </tr> </table> <p>を新たに着手</p> <p>新たに11校の耐震補強工事が完了</p> <p>決算額 21億7,956万1千円</p> | 耐震補強工事立案・評価 | 23校 | 耐震補強工事実施設計 | 65校 | 耐震補強工事 | 50校 | | | | | | | | | | | | | |
| 耐震補強工事立案・評価 | 23校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐震補強工事実施設計 | 65校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐震補強工事 | 50校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>特記事項</p> <p>平成23年3月に発生した東日本大震災による被災状況を踏まえ、完了時期を平成30年度末としていた当初計画を、平成27年度末とするよう平成24年3月に見直した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 平和への思いを共有するまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|------------|---------------------------|--|--|---|---|
| 「迎える平和」の推進 | 広島を訪れ、平和への思いを共有してもらうための取組 | <p>【事業名】 NPT再検討会議等国際会議の誘致 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けては、核保有国をはじめとする各国の為政者に広島に来てもらい、被爆の実相に触れ、被爆者の体験や平和への思いを共有し、核兵器廃絶の実現に向けて努力してもらうことが重要である。 このため、NPT再検討会議など各国の為政者たちが広島のに地に集い、核兵器廃絶に向けた議論をするための国際会議の開催を目指す。</p> | <p>当該年度の事業計画 ・NPT再検討会議など国際会議の広島開催に向けた国(外務省)への協力要請等</p> <p style="text-align: right;">予算額 48万7千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>(1) NPDI外相会合への支援 NPDI(軍縮・不拡散イニシアティブ)外相会合が平成26年度に広島市で開催されることが決定したことから、同会合が成功裡に終わられるよう、国(外務省)と連携を図りながら必要な支援等を行う。</p> <p>(2) NPT再検討会議等国際会議の誘致 NPT再検討会議など国際会議の広島開催に向け、引き続き、国(外務省)への協力要請等を行う。</p> | <p>市民局 国際平和推進部 平和推進課</p> <p>TEL:082-242-8872 E-mail: peace@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項</p> <p>NPT再検討会議等国際会議を広島で開催することは、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う広島市民の思いを為政者に直接伝えるまたとない機会であるという考えの下、実施するものである。</p> | | |

3 平和への思いを共有するまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | 担当局・課名等 |
|------------|---------------------|--|--|--|
| 「迎える平和」の推進 | 被爆の実相を正しく伝えていくための取組 | <p>【事業名】 被爆体験伝承者の養成 新規</p> <p>【事業の目的・概要等】 被爆者の高齢化が進み、被爆体験を直接語り継ぐことができる方が減少している中、被爆者の被爆体験や平和への思いを次世代に確実に伝えるため、被爆体験証言者の被爆体験等を受け継ぎ、それを伝える「被爆体験伝承者」を養成する。 また、被爆者の中には、新たに、自らの被爆体験を広く後世に伝えたいという意向を持つ方もおられることから、今後、自らの被爆体験等を語っていただける「被爆体験証言者」を募る。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>・被爆体験伝承者及び被爆体験証言者の募集 ・被爆の実相の講義、被爆体験講話の聴講等研修の実施 ・証言者と伝承候補者との交流会の実施</p> <p style="text-align: right;">予算額 177万2千円</p> <hr/> <p>前年度の取組実績 なし</p> <p style="text-align: right;">決算額 0千円</p> <p>特記事項 被爆者の高齢化が進む中で、被爆体験を直接語り継ぐことの重要性をしっかりと受け止めていくという考えの下に実施するものである。</p> | <p>市民局 国際平和推進部 平和推進課</p> <p>TEL: 082-242-7831 E-mail: peace@city.hiroshima.lg.jp</p> |

3 平和への思いを共有するまちの実現

| 大項目 | 小項目 | 事業名、事業の概要等 | 取組状況等 | | 担当局・課名等 |
|------------|-----------|--|---|---|--|
| 「迎える平和」の推進 | 平和への思いの醸成 | <p>【事業名】 折り鶴に託された思いを昇華させるための取組の推進</p> <p>【事業の目的・概要等】 平和記念公園の「原爆の子の像」に国内外から捧げられる折り鶴に託された平和を願う思いを多くの市民と共有し、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う輪を広げていくため、「折り鶴に託された思いを昇華させるための方策」に基づき、取組を推進する。</p> | <p>当該年度の事業計画</p> <p>(1) 折り鶴の運搬・保管 (2) 旧日本銀行広島支店の折り鶴等撤去 (3) 市民主体の「昇華」の取組の推進</p> <p>ア 市民等への折り鶴の配付 イ シンボルマーク(ロゴマーク)の募集・制作 ウ 折り鶴再生モデル事業の実施</p> <p style="text-align: right;">予算額 366万8千円</p> | <p>平成27年度までの事業展開の予定</p> <p>(1) 折り鶴の運搬・保管 平成25年度以降も継続する。</p> <p>(2) 市民主体の「昇華」の取組の推進 平成25年度以降も市民等への折り鶴の配付を継続するとともに、ロゴマークを活用した機運醸成を図る。</p> <p>(3) 市が実施する「昇華」の取組の検討・実施 庁内で使用する用紙類等への折り鶴再生紙の導入や、新たな「昇華」の取組内容について、平成25年度に検討し、平成26年度からの本格実施を目指す。</p> | <p>市民局 国際平和推進部 平和推進課</p> <p>TEL: 082-242-7831 E-mail: peace@city.hiroshima.lg.jp</p> |
| | | | <p>前年度の取組実績</p> <p>(1) 折り鶴の運搬・保管 (2) 旧日本銀行広島支店等での折り鶴展示 (3) 「折り鶴に託された思いを昇華させるための方策」の策定</p> <p style="text-align: right;">決算額 462万3千円</p> | | |
| | | | <p>特記事項 なし</p> | | |